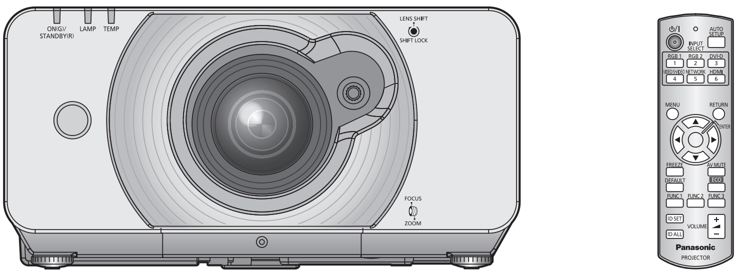
Panasonic

取扱説明書
詳細編

DLP™ 方式プロジェクター　業務用

品番　PT-DZ570
PT-DW530
PT-DX500



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書（基本ガイド・詳細編・ネットワーク操作説明編）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ **ご使用の前に『安全上のご注意』（☞６～９ページ）を必ずお読みください。**

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

M1010RN0 -SA　　TQBH0225

本機の特長

自由度の高い設置性

▶ 2 倍ズームレンズ、レンズシフトの搭載により、自由度の高い設置性を実現しました。

色再現性 / 精細感の向上

▶ ランプのブースト制御、独自方式映像エンハンサーの導入により、色再現性、精細感が向上しました。

ECO 機能による省エネの実現

▶ セット設置場所の明るさ、入力信号状態、映像ミュート状態に応じてランプ電力を最適化することで、消費電力を低減します。
（「ECO マネージメント」内の「省エネ設定」を「オン」に設定時）

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
（☞ 20 ページ）

2. 本機と外部機器を接続する
（☞ 26 ページ）

3. 電源コードを接続する
（☞ 30 ページ）

4. 電源を入れる
（☞ 31 ページ）

5. 初期設定をする ※
（☞ 15 ページ）

6. 投写する映像を選択する
（☞ 33 ページ）

7. 映像の映り具合を調整する
（☞ 33 ページ）

※: 本機をご購入後、初めて電源を入れてご使用になる場合に行う手順です。

もくじ

『安全上のご注意』を必ずお読みください。(☞ 6 ～ 9 ページ)

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

調整と設定

点検と部品交換

その他

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気を付けていただく内容です。

⚠ 警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

■異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

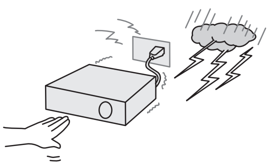
- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき。
- 落下などで外装ケースが破損したとき。
- 煙や異臭、異音が発生したとき。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

▶ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
▶ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。
▶ 使用を中止し、電源プラグを抜いたあと、販売店にご相談ください。

■雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない

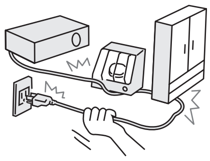
接触禁止



感電の原因になります。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

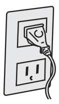


- 加工したり、傷つけたりしない。
- 引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたり、束ねたりしない。
- 熱器具に近づけたり、重いものを載せたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

▶ コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



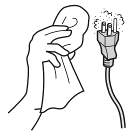
差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■付属の電源コード以外は使用しない

禁止

付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる

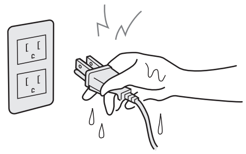


電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

▶ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
▶ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

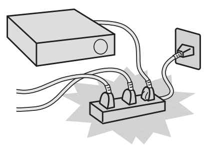
ぬれ手禁止



感電の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止



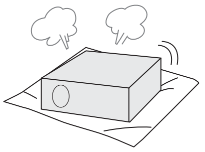
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

ご使用・設置について

■放熱を妨げない

禁止



- 布や紙などの上に置かない。（吸気孔に吸着する場合があります。）
- 風通しが悪く狭い所に押し込まない。

内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

▶ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 50 cm 以上離して設置してください。

■排気孔には手やものを近づけない

禁止

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気孔からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

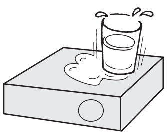
■カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない

禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

■水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

禁止



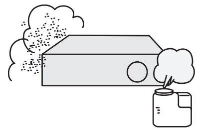
- 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かない。

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

▶ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
▶ 特にお子様にはご注意ください。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない

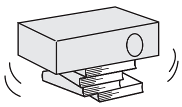
禁止



火災・感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。

■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

禁止



落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故・けがの原因になります。

■使用中は投写レンズをのぞかない

禁止

投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。

▶ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。
▶ 特にお子様にはご注意ください。

■異物を入れない

禁止

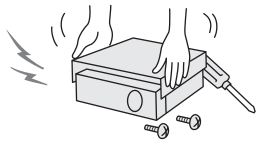
- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。

ショートによる火災・感電の原因になります。

▶ 特にお子様にはご注意ください。

■分解したり、改造したりしない

分解禁止



内部には電圧の高い部分があるため、火災・感電の原因になります。

「本体に表示した事項」

▶ 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■レンズカバーを取り付けたまま投写しない

禁止

火災の原因になることがあります。

■エアーフィルターおよびランプユニットの交換は、専門の技術者または販売店に依頼する

けがの原因になります。

■天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する

工事の不備があると、事故の原因になります。

■当社で指定した天つり金具を使用する

天つり金具に不備があると、事故の原因になります。

▶ 付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。

警告

付属品・消耗品について

■ランプユニットを分解しない

禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

■エアーフィルターおよびランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

禁止

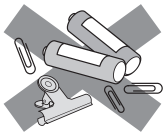
- 液が目に入ったら目をこすらない。

失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。

▶ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■電池は誤った使い方をしない

禁止



- 指定された電池以外は使用しない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- ＋と－を針金などで接続しない。
- ＋と－を逆に入れない。
- ネックレスやヘアピンなど、金属が使用されているものと一緒に保管しない。
- 新・旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。
- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。）

液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

■付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない

禁止

付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

■付属のねじや平ワッシャーは、乳幼児の手の届く所に置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

▶ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

電源について

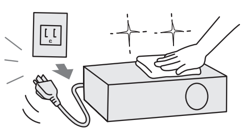
■長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

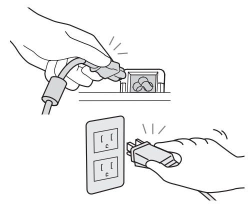
■お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く



感電の原因になることがあります。

■電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクタを持って抜く

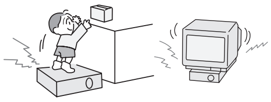


コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

⚠注意

ご使用・設置について

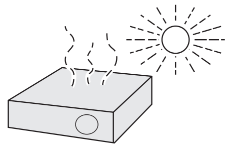
■本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

■異常に温度が高くなる所に置かない



禁止

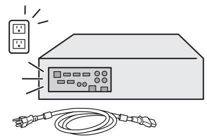
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

▶ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

■フィルターの取り外しは、ファンが停止してから行う

けがの原因になります。

■移動させる場合は、必ず接続線を外す



コードの破損などにより、火災・感電の原因になることがあります。

■使用中は排気孔をのぞかない

禁止

排気孔からランプの光が見えます。長時間のぞきこむと、目を痛める原因になります。

付属品・消耗品について

■長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す

電池の液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない

禁止

散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。

▶ 直ちに換気を行ってください。
▶ 万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
▶ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
▶ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■古いランプユニットは使用しない

禁止

● 使用時間を超えたランプユニットは使用しない。

そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。

▶ ランプユニットは消耗部品です。

お手入れについて

■2 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する

本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。

▶ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
▶ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。特にレンズ部を持っての運搬はしないでください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

設置に関する留意点

■屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』☞90 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。
- 高出力のレーザー機器がある場所：レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

■レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オン」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■海抜 1 400 m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オフ」に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■海抜 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■左右に傾けて使用しないでください

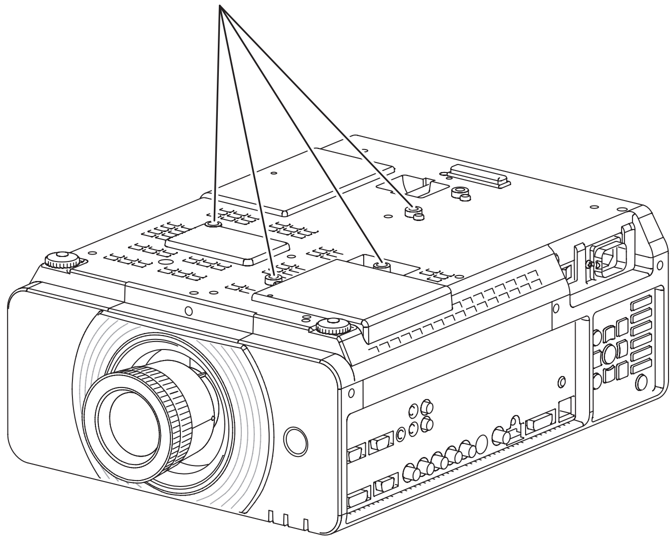
水平から垂直方向に 15° を超える角度に傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■垂直方向に 30° を超える角度に傾けて本機を設置して使用する場合は、「冷却条件」を設定してください

未設定のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

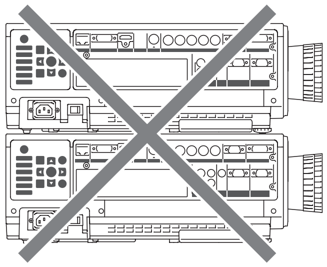
■設置上のご注意 1

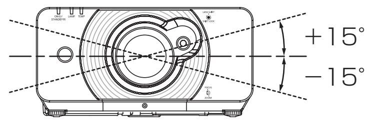
- プロジェクターをアジャスター脚による床置き設置以外の方法で設置して使用する場合は、プロジェクターの固定を天つり用ねじ穴（図示）の４か所を使用して行ってください。
  （ねじ径：M4、セット内部ねじ穴深さ：7 mm）
- 床置き以外の設置ではアジャスター脚を角度調整に使用しないでください。セットが破損するおそれがあります。

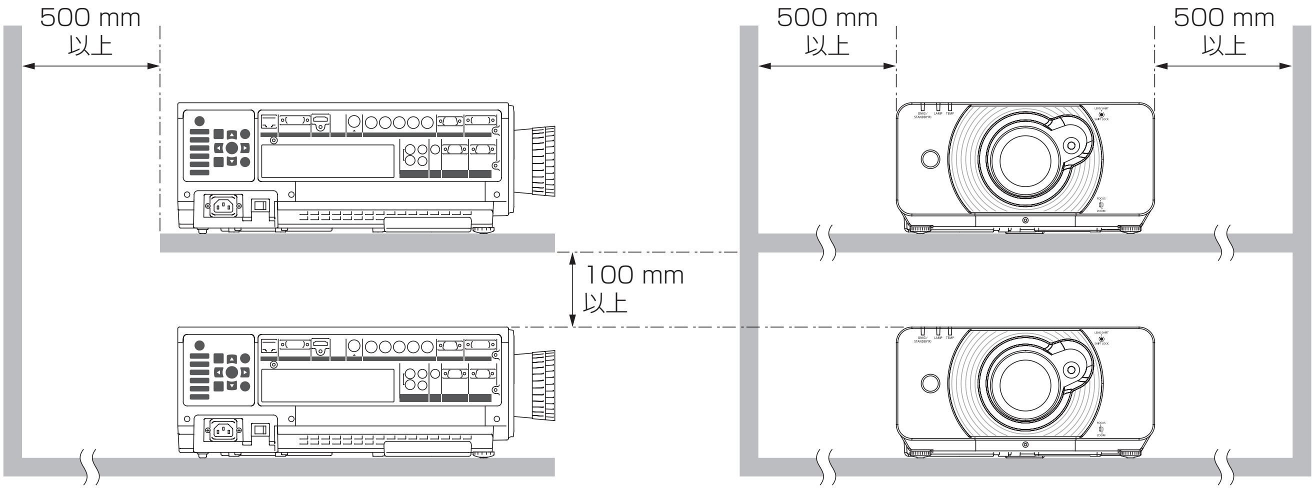


■設置上のご注意 2

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 水平から垂直方向に± 15°を超える角度に傾けた状態で使用しないでください。
- 本機の吸気孔・排気孔をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気孔・排気孔に直接当たらないように設置をしてください。







- 本機を囲われた空間で設置しないでください。
  囲われた空間で設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路が働くことがあります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。（☞70 ページ）

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。セットの前面に自機、あるいは他機の排気が回り込むような設置がないように注意してください。
- 高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また、本機を使用しないときは、レンズカバーを取り付けておいてください。

■DLP チップについて

DLP チップは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
高出力のレーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になりますので注意してください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷､使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり､寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 22 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
  (『■ランプユニットの交換時期』☞77 ページ、『■ランプユニットおよびエアーフィルターの交換手順』☞78 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- 22 時間以上の連続使用はランプの劣化を早めます。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者または販売店にご依頼ください。

注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

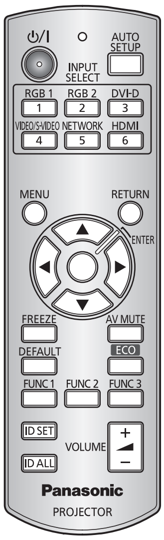
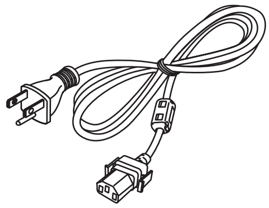
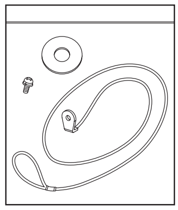
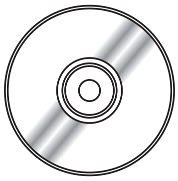
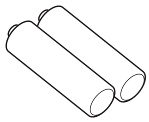
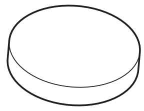
VCCI-B

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

付属品 / 別売品について

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈 〉は個数です。

<table>
<tr><td>リモコン〈1〉
（N2QAYB000566）</td><td colspan="2">電源コード〈1〉
（TXFSX02VKN9）</td><td>天つり用落下防止具〈1〉
（TTRA0244）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">
</td><td colspan="2"></td><td>
（ワイヤーロープ〈1〉、平ワッシャー〈1〉、ワイヤーロープ固定ねじ〈1〉）</td></tr>
<tr><td>CD-ROM〈1〉
（TXFQB02VKN9）</td><td>リモコン用
単 3 形乾電池〈2〉</td><td>レンズカバー〈1〉
（TKKL5519）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
（お買い上げ時は、製品本体に装着されています。）</td></tr>
</table>

別売品（品名）	品番
天つり金具	高天井用：ET-PKD110H / 低天井用：ET-PKD110S
交換用ランプユニット	ET-LAD60A（1 灯）/ ET-LAD60AW（2 灯）
ワイヤレスモジュール	ET-WM200

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

はじめにお読みください

本機をご購入後、初めて電源を入れたとき、および「初期化」の「全ユーザーデータ」（☞67 ページ）を実行した場合、表示言語を設定する画面と、その他の初期設定を行う「初期設定」のメニュー画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。

それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

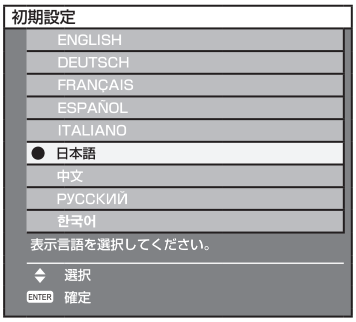
お知らせ

- 初回使用の際は、メニュー画面をはっきり表示させるため、本体レンズ部のズームリング、フォーカスリング（☞17 ページ）での調整が必要になる場合があります。
  詳しくは『映像の映り具合を調整する』をご覧ください。（☞33 ページ）

■言語の設定

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。

1）▲▼ボタンで表示言語を選ぶ



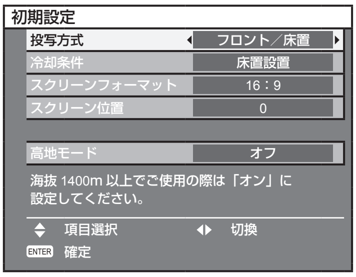
2）〈ENTER〉ボタンを押し、次の初期設定を行う

■設置条件の設定

「初期設定」内の各項目を設定してください。

1）▲▼ボタンで項目を選ぶ

2）◀▶ボタンで各項目の設定を切り換える



各項目の詳細は、以下のページをご覧ください。

- 「投写方式」（☞60 ページ）
- 「冷却条件」（☞60 ページ）
- 「スクリーンフォーマット」（☞53 ページ）
- 「スクリーン位置」（☞53 ページ）
- 「高地モード」（☞61 ページ）

3）〈ENTER〉ボタンを押して設定を終了する

お知らせ

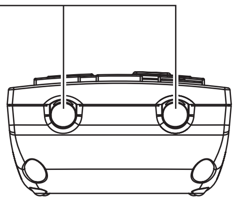
- このメニュー画面から〈RETURN〉ボタンを押すと、言語を設定するメニュー画面（1 つ前の画面）に戻ることができます。

各部の名称とはたらき

リモコン

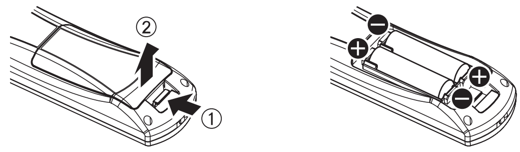
■天面

リモコン発信部



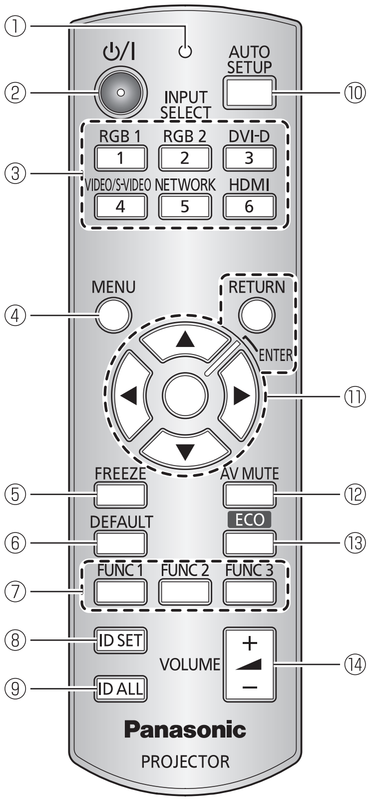
リモコンの電池の入れ方・取り出し方

ふたを開ける　　電池を入れ、ふたを閉じる（⊖側から先に入れます）

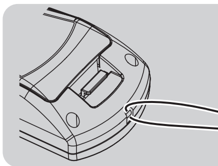


電池を取り出す場合は、逆の手順で行います

■正面



① **リモコン操作表示ランプ**
　リモコンボタンを押すと点滅します
② 本体側面の主電源スイッチが「入」のとき、電源を「切」/「入」します
③ 投写する入力信号を切り換えます（☞35 ページ）
　リモコンの ID を設定する場合にも使用します（☞19 ページ）
④ メニュー画面を表示します（☞38 ページ）
⑤ 映像と音声を一時的に静止したい場合に使用します（☞35 ページ）
⑥ サブメニューの設定内容を工場出荷状態に戻します（☞38 ページ）
⑦ よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します（☞36 ページ）
⑧ 本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID を設定する場合に使用します（☞19 ページ）
⑨ 本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御する場合に使用します（☞19 ページ）
⑩ 映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します
　自動調整中は画面に「実行中」と表示します（☞36 ページ）
⑪ メニュー画面操作に使用します（☞38 ページ）
⑫ 映像と音声を一時的に消したい場合に使用します（☞35 ページ）
⑬「ECO マネージメント」メニューを表示します（☞36 ページ）
⑭ 音声出力の音量を調整します（☞37 ページ）



使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます

お 願 い

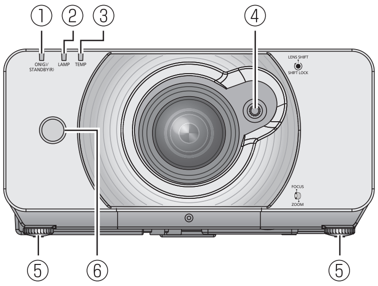
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。

お知らせ

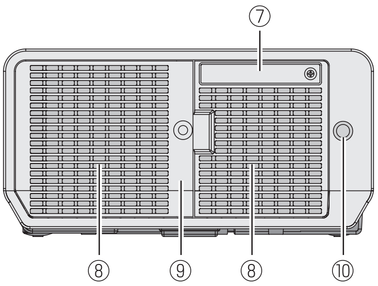
- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 15 m 以内で操作してください。また、上下に± 15 度と左右に± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
  リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- 本体がリモコンの信号を受信すると〈電源モニター〉が点滅します。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体

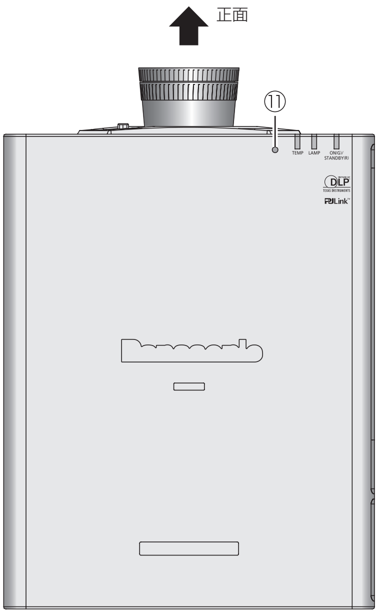
■前面



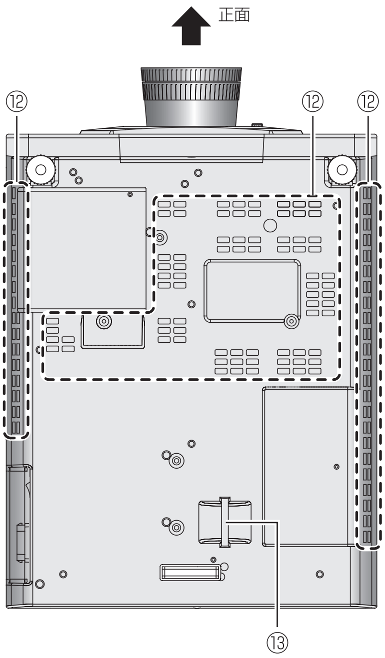
■後面



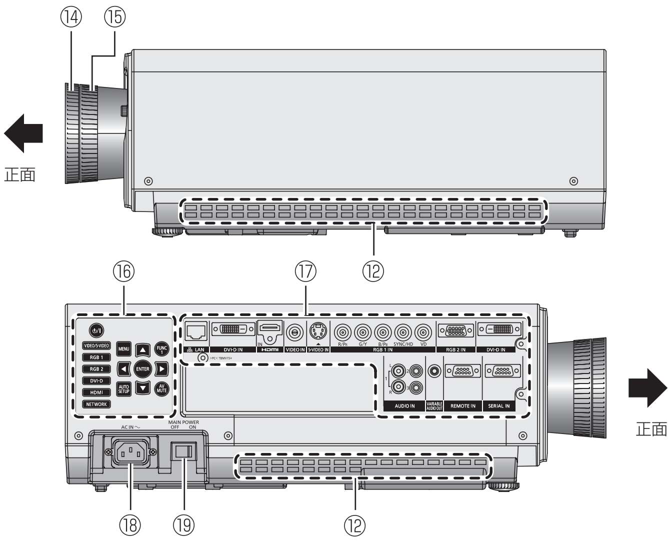
■上面



■底面



■側面



① **電源モニター（STANDBY（R）/ ON（G））**
電源の状態を表示します

② **ランプモニター（LAMP）**
ランプの状態を表示します

③ **温度モニター（TEMP）**
内部温度の状態を表示します

④ **シフトレバー**
投写位置を調整します

⑤ **アジャスター脚**
投写角度を調整します

⑥ **リモコン受信部（前）**

⑦ **ワイヤレスモジュールカバー**
内部にワイヤレスモジュール接続端子があります（☞94 ページ）

⑧ **排気孔**

⑨ **ランプユニット収納扉（☞78 ページ）**

⑩ **リモコン受信部（後）**

⑪ **照度センサー**

⑫ **吸気孔**

⑬ **盗難防止フック**
盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます

⑭ **フォーカスリング**
フォーカスを調整します

⑮ **ズームリング**
ズームを調整します

⑯ **本体操作部**

⑰ **側面接続端子部**

⑱ **AC 入力端子**
付属の電源コードを接続します

⑲ **主電源スイッチ**
主電源を「切」/「入」します

⚠ 警告

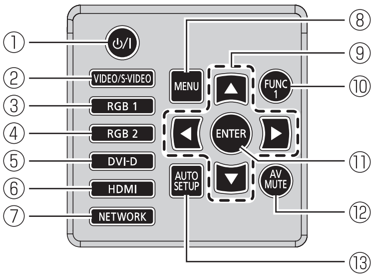
■排気孔には手やものを近づけない

禁止

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気孔からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

■本体操作部



① **電源ボタン**
本体側面の主電源スイッチが「入」のとき、電源を「切」/「入」します

② VIDEO/S-VIDEO に入力を切り換えます

③ RGB1 に入力を切り換えます

④ RGB2 に入力を切り換えます

⑤ DVI-D に入力を切り換えます

⑥ HDMI に入力を切り換えます

⑦ NETWORK に入力を切り換えます

⑧ **メニューボタン**
メインメニューを表示したり、消したりします
サブメニューが表示されているときは 1 つ前の画面に戻ります

⑨ **▲▼◀▶選択ボタン**
メニュー画面の項目選択や、設定の切り換えおよびレベルの調整をします
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します

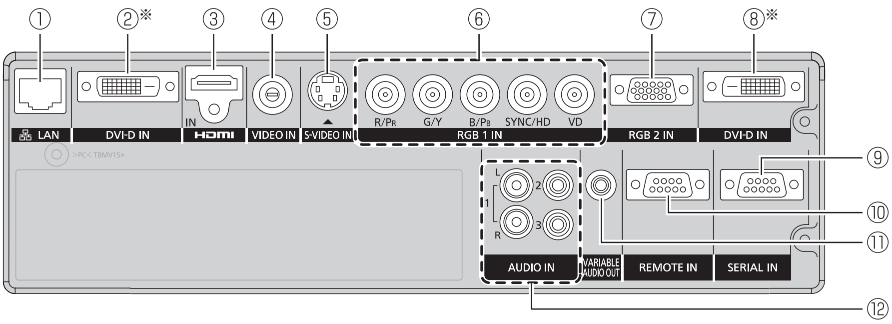
⑩ **ファンクション 1 ボタン**
よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します

⑪ **エンターボタン**
メニュー画面の項目の決定や実行をします

⑫ **AV ミュートボタン**
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します
(☞35 ページ)

⑬ **オートセットアップボタン**
映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します
自動調整中は画面に「実行中」と表示します(☞36 ページ)

■側面接続端子部



※：②、⑧の DVI-D 入力端子は機種により位置が異なります。

① **LAN 端子**
ネットワーク接続する端子です

② **DVI-D 入力端子（PT-DX500）**
DVI-D 信号を入力する端子です

③ **HDMI 入力端子**
HDMI 信号を入力する端子です

④ **VIDEO 入力端子**
ビデオ信号を入力する端子です

⑤ **S-VIDEO 入力端子**
S ビデオ信号を入力する端子です

⑥ **RGB1 入力端子**
RGB 信号または YP_BP_R 信号を入力する端子です

⑦ **RGB2 入力端子**
RGB 信号または YP_BP_R 信号を入力する端子です

⑧ **DVI-D 入力端子（PT-DZ570/PT-DW530）**
DVI-D 信号を入力する端子です

⑨ **シリアル入力端子**
コンピューターを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です

⑩ **リモート入力端子**
外部制御回路を使用して本体を遠隔操作する端子です

⑪ **音声出力端子**
本機に入力された音声信号を出力します

⑫ **音声 1 ～ 3 入力端子**
音声を入力する端子です
音声 1 入力端子は、左入力と右入力（L と R）があります

お 願 い

● LAN は屋内の機器に接続してください。

リモコンの使い方

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。
なお、**本機の ID ナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけでご使用の場合は、リモコンは〈ID-ALL〉ボタンをご使用ください。本機の ID が判らない場合は、リモコン ID を〈ID-ALL〉ボタンで設定してください。**

■設定方法

〈ID-SET〉ボタンを押したあと、5 秒以内に、本機側で設定されている 1 けたの ID ナンバーを数字(〈1〉~〈6〉)ボタンで設定する。
ただし、〈ID-ALL〉ボタンを押した場合は、本機の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

お 願 い

- リモコンの ID ナンバー指定は、本機がなくても可能なため、〈ID-SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID-SET〉ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字(〈1〉~〈6〉)ボタンを押さないと〈ID-SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと、設定した ID ナンバーは消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ

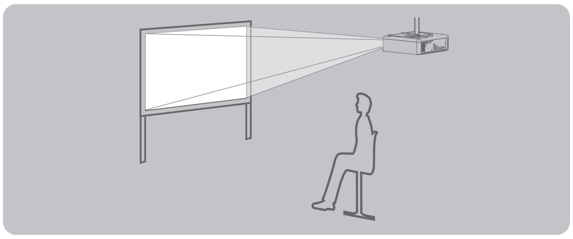
- 本体の ID 設定は、『「プロジェクターセットアップ」について』の『プロジェクター ID』(☞60 ページ)をご覧ください。

設置する

投写方式

本機は、4 通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

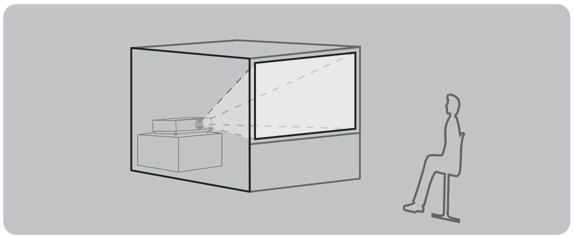
■天つり設置で前方に投写する場合



メニュー項目 ※	設定値
投写方式	フロント / 天つり
冷却条件	天つり設置

■床置設置で後方から投写する場合

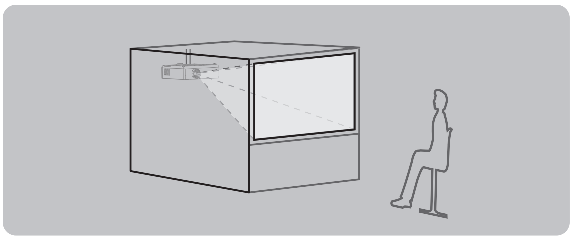
（透過式スクリーン使用）



メニュー項目 ※	設定値
投写方式	リア / 床置
冷却条件	床置設置

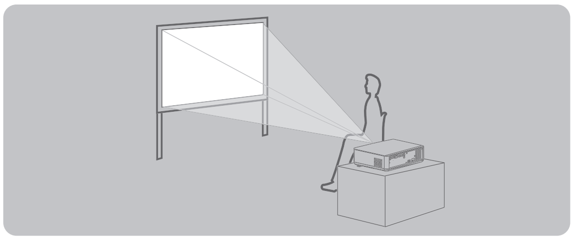
■天つり設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）



メニュー項目 ※	設定値
投写方式	リア / 天つり
冷却条件	天つり設置

■床置設置で前方に投写する場合

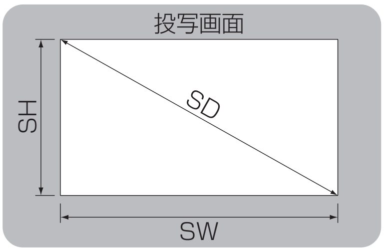


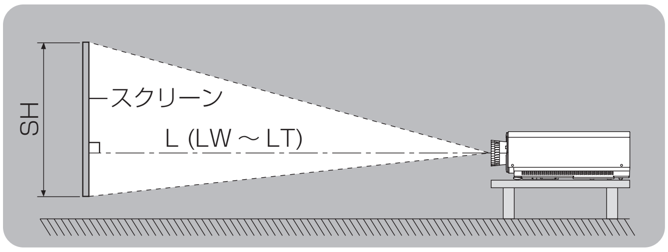
メニュー項目 ※	設定値
投写方式	フロント / 床置
冷却条件	床置設置

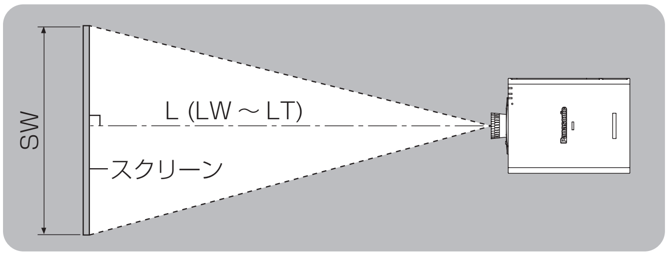
※: メニュー項目の詳細については、『「プロジェクターセットアップ」について』の『投写方式』および『冷却条件』（☞60 ページ）をご覧ください。

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。







L（LW ～ LT）※	投写距離（m）
SH	画面高さ（m）
SW	画面幅（m）
SD	画面対角サイズ（型）

※: LW：最短投写距離
LT ：最長投写距離

お願い

- 設置をする前に『ご使用になる前に』（☞ 10 ～ 14 ページ）をお読みください。
- DLP プロジェクターと高出力のレーザー機器を同じ部屋で使用しないでください。
  レーザー光がレンズ面に入ると DLP チップの故障の原因になります。

■投写距離（PT-DZ570 の場合）

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

投写画面サイズ	アスペクト 4：3 の場合		アスペクト 16：9 の場合		アスペクト 16：10 の場合	
対角（SD）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）
40 型（1.02 m）	1.40 m	2.85 m	1.26 m	2.58 m	1.23 m	2.51 m
50 型（1.27 m）	1.76 m	3.57 m	1.59 m	3.24 m	1.55 m	3.15 m
60 型（1.52 m）	2.12 m	4.30 m	1.92 m	3.90 m	1.87 m	3.79 m
70 型（1.78 m）	2.48 m	5.02 m	2.25 m	4.55 m	2.19 m	4.43 m
80 型（2.03 m）	2.85 m	5.74 m	2.58 m	5.21 m	2.51 m	5.07 m
90 型（2.29 m）	3.21 m	6.46 m	2.91 m	5.86 m	2.83 m	5.70 m
100 型（2.54 m）	3.57 m	7.19 m	3.24 m	6.52 m	3.15 m	6.34 m
120 型（3.05 m）	4.30 m	8.63 m	3.89 m	7.83 m	3.79 m	7.62 m
150 型（3.81 m）	5.38 m	10.80 m	4.88 m	9.80 m	4.75 m	9.53 m
200 型（5.08 m）	7.20 m	14.41 m	6.53 m	13.08 m	6.35 m	12.73 m
250 型（6.35 m）	9.01 m	18.03 m	8.17 m	16.36 m	7.95 m	15.92 m
300 型（7.62 m）	10.82 m	21.64 m	9.82 m	19.64 m	9.55 m	19.11 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（型）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

	アスペクト 4：3 の場合	アスペクト 16：9 の場合	アスペクト 16：10 の場合
投写画面サイズ　高さ（SH）	= SD × 0.0152	= SD × 0.0125	= SD × 0.0135
投写画面サイズ　幅（SW）	= SD × 0.0203	= SD × 0.0221	= SD × 0.0215
最短投写距離（LW）	= 0.0362 × SD − 0.0546	= 0.0329 × SD − 0.0546	= 0.0320 × SD − 0.0546
最長投写距離（LT）	= 0.0723 × SD − 0.0408	= 0.0656 × SD − 0.0408	= 0.0638 × SD − 0.0408

■投写距離（PT-DW530 の場合）

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

投写画面サイズ	アスペクト 4：3 の場合		アスペクト 16：9 の場合		アスペクト 16：10 の場合	
対角（SD）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）
40 型（1.02 m）	1.47 m	2.99 m	1.33 m	2.71 m	1.29 m	2.64 m
50 型（1.27 m）	1.85 m	3.75 m	1.67 m	3.40 m	1.63 m	3.31 m
60 型（1.52 m）	2.23 m	4.51 m	2.02 m	4.09 m	1.96 m	3.98 m
70 型（1.78 m）	2.61 m	5.27 m	2.36 m	4.78 m	2.30 m	4.65 m
80 型（2.03 m）	2.99 m	6.03 m	2.71 m	5.47 m	2.64 m	5.32 m
90 型（2.29 m）	3.37 m	6.79 m	3.06 m	6.16 m	2.97 m	5.99 m
100 型（2.54 m）	3.75 m	7.55 m	3.40 m	6.85 m	3.31 m	6.66 m
120 型（3.05 m）	4.51 m	9.06 m	4.09 m	8.23 m	3.98 m	8.00 m
150 型（3.81 m）	5.65 m	11.34 m	5.13 m	10.29 m	4.99 m	10.01 m
200 型（5.08 m）	7.56 m	15.13 m	6.86 m	13.74 m	6.67 m	13.36 m
250 型（6.35 m）	9.46 m	18.93 m	8.58 m	17.18 m	8.35 m	16.72 m
300 型（7.62 m）	11.36 m	22.72 m	10.31 m	20.63 m	10.03 m	20.07 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（型）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

	アスペクト 4：3 の場合	アスペクト 16：9 の場合	アスペクト 16：10 の場合
投写画面サイズ　高さ（SH）	= SD × 0.0152	= SD × 0.0125	= SD × 0.0135
投写画面サイズ　幅（SW）	= SD × 0.0203	= SD × 0.0221	= SD × 0.0215
最短投写距離（LW）	= 0.0381 × SD − 0.0546	= 0.0346 × SD − 0.0546	= 0.0336 × SD − 0.0546
最長投写距離（LT）	= 0.0759 × SD − 0.0408	= 0.0689 × SD − 0.0408	= 0.0670 × SD − 0.0408

■投写距離（PT-DX500 の場合）

（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

投写画面サイズ	アスペクト 4：3 の場合		アスペクト 16：9 の場合	
対角（SD）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）
40 型（1.02 m）	1.20 m	2.46 m	1.31 m	2.68 m
50 型（1.27 m）	1.51 m	3.08 m	1.65 m	3.36 m
60 型（1.52 m）	1.82 m	3.70 m	1.99 m	4.04 m
70 型（1.78 m）	2.14 m	4.33 m	2.33 m	4.72 m
80 型（2.03 m）	2.45 m	4.95 m	2.67 m	5.40 m
90 型（2.29 m）	2.76 m	5.58 m	3.01 m	6.08 m
100 型（2.54 m）	3.08 m	6.20 m	3.36 m	6.76 m
120 型（3.05 m）	3.70 m	7.45 m	4.04 m	8.12 m
150 型（3.81 m）	4.64 m	9.32 m	5.06 m	10.16 m
200 型（5.08 m）	6.21 m	12.44 m	6.77 m	13.56 m
250 型（6.35 m）	7.77 m	15.56 m	8.47 m	16.95 m
300 型（7.62 m）	9.34 m	18.68 m	10.18 m	20.35 m

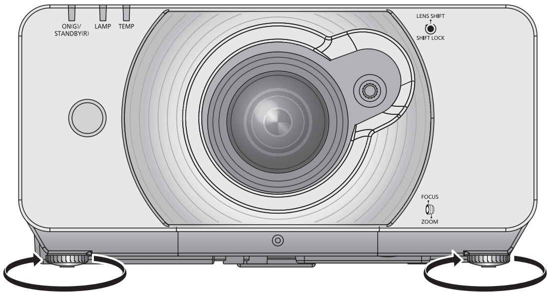
上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（型）から下記の計算式で求めることができます。
計算結果の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

	アスペクト 4：3 の場合	アスペクト 16：9 の場合
投写画面サイズ　高さ（SH）	= SD × 0.0152	= SD × 0.0125
投写画面サイズ　幅（SW）	= SD × 0.0203	= SD × 0.0221
最短投写距離（LW）	= 0.0313 × SD − 0.0546	= 0.0341 × SD − 0.0546
最長投写距離（LT）	= 0.0624 × SD − 0.0408	= 0.0680 × SD − 0.0408

アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。
（上下に投写角度を調整することができます。）



調整可能量
アジャスター脚：20 mm

お願い

- ランプ点灯中は排気孔から熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞48 ページ）

お知らせ

- アジャスター脚を締めつけ方向に回して“カチッ”と音がしたら、脚の締めつけは完了です。

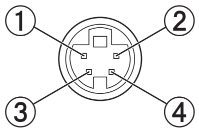
接続する

接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、S ビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合はケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。

■S ビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名

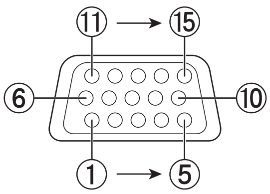
外側から見た図



ピン No.	信号名
①	GND（輝度信号）
②	GND（色信号）
③	輝度信号
④	色信号

■RGB2 入力（RGB2 IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図



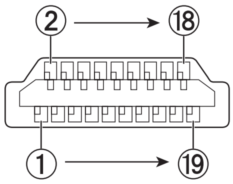
ピン No.	信号名
①	R/P_R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P_B
⑫	DDC データ
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	DDC クロック

④、⑨は未使用です。
⑤〜⑧、⑩、⑪は GND 端子です。

■HDMI 入力（HDMI IN）端子のピン配列と信号名

外側から見た図

②〜⑱の偶数ピン

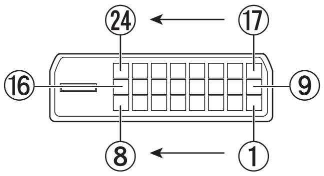


①〜⑲の奇数ピン

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 ＋	②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 －	④	T.M.D.S データ 1 ＋
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド	⑥	T.M.D.S データ 1 －
⑦	T.M.D.S データ 0 ＋	⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 －	⑩	T.M.D.S クロック＋
⑪	T.M.D.S クロック シールド	⑫	T.M.D.S クロック－
⑬	CEC	⑭	—
⑮	SCL	⑯	SDA
⑰	DDC/CEC GND	⑱	+5V
⑲	ホットプラグ検出		

■DVI-D 入力（DVI-D IN）端子のピン配列と信号名

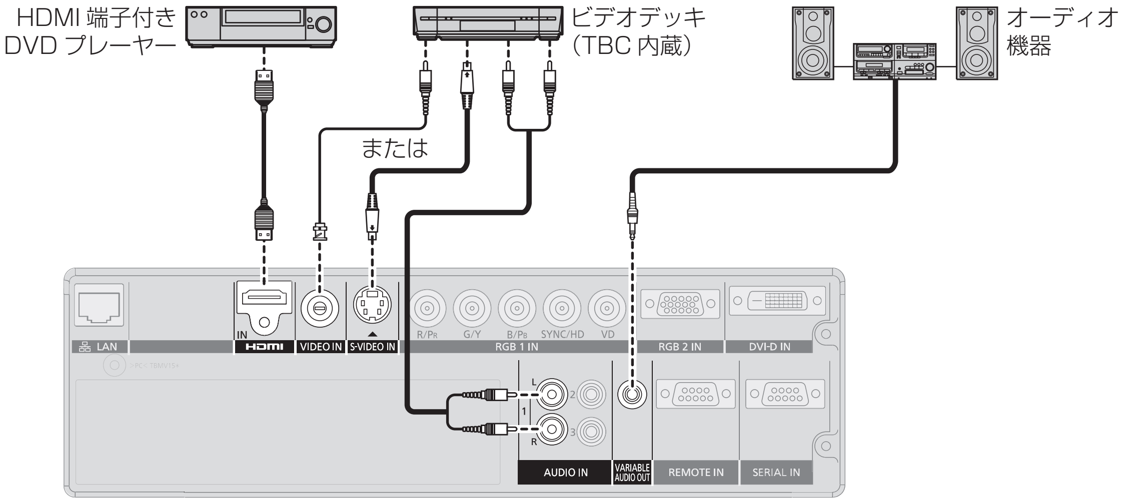
外側から見た図



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2−	⑬	—
②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
③	T.M.D.S データ 2/4 シールド	⑮	GND
④	—	⑯	ホットプラグ検出
⑤	—	⑰	T.M.D.S データ 0−
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S データ 0+
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S データ 0/5 シールド
⑧	—	⑳	—
⑨	T.M.D.S データ 1−	㉑	—
⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロック シールド
⑪	T.M.D.S データ 1/3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック+
⑫	—	㉔	T.M.D.S クロック−

※: PT-DX500 の DVI-D 入力端子は、コネクタが 180 °回転した向きになっています。

映像機器との接続（例）



※：上図は、PT-DZ570/DW530 の端子部を例にしています。

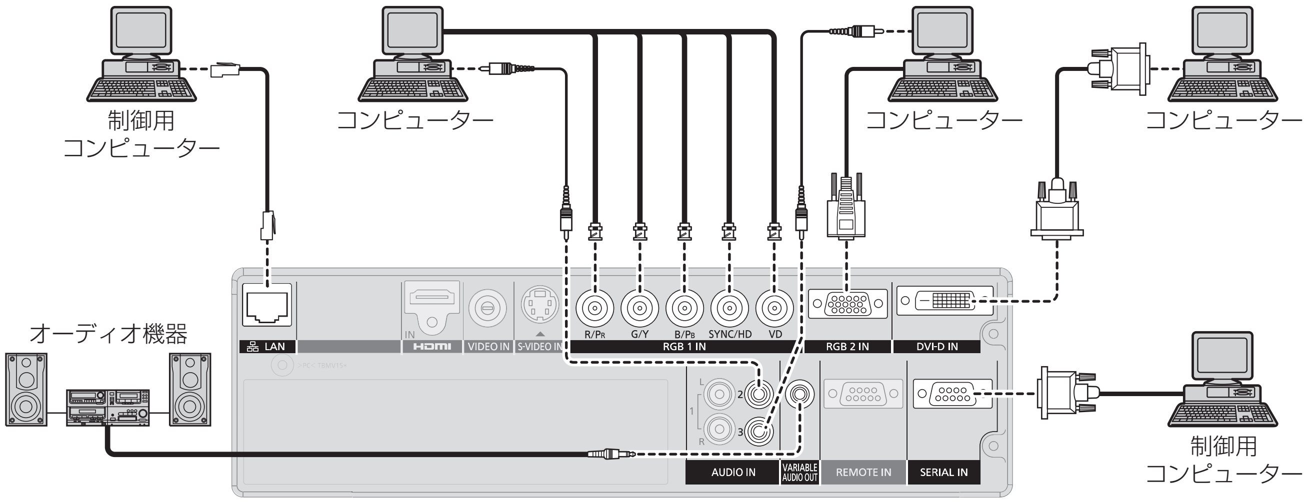
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター（TBC）内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター（TBC）を使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクター（TBC）を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMI 入力端子は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（☞56 ページ）
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（☞56 ページ）
- 「音声入力選択」の設定を間違えると、音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。（☞65 ページ）
- 本機はビエラリンク（HDMI）に対応していません。

コンピューターとの接続（例）



※：上図は、PT-DZ570/DW530 の端子部を例にしています。

お知らせ

- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、『対応信号リスト』（☞87 ページ）を参照してください。
- レジューム機能（ラストメモリー）を持つコンピューターを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN 信号入力時には SYNC/HD、VD 端子へ同期信号を入力しないでください。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要になる場合があります。（☞56 ページ）
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- HDMI 入力端子は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（☞56 ページ）
- 「音声入力選択」の設定を間違えると、音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。（☞65 ページ）

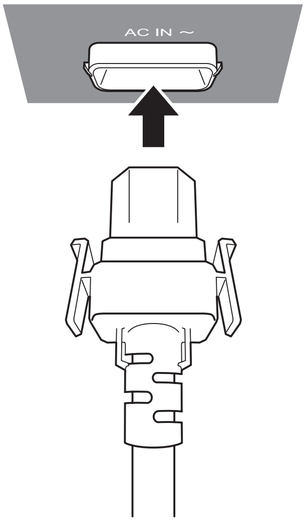
電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。
主電源〈MAIN POWER〉スイッチが“○”側（オフ）になっていることを確認してから、電源コードを接続してください。

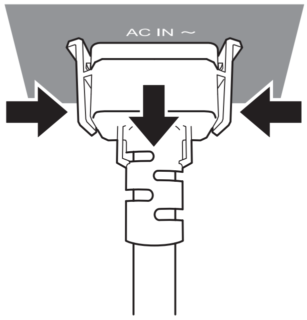
■取り付け方

左右のつめが“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込む

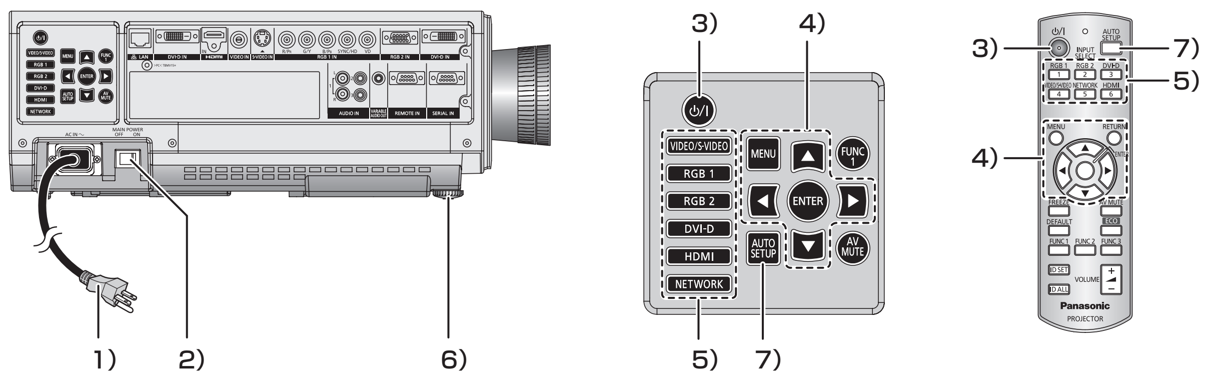


■取り外し方

横のつまみを押しながら引き抜く



基本的な使い方



電源を入れる

電源を入れる前に、あらかじめレンズカバーを外してください。

1) 電源プラグをコンセントに接続する

（AC100 V 50 Hz/60 Hz）

2) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの "｜" 側を押して電源を入れる

しばらくすると〈電源モニター〉が赤色に点灯してスタンバイ状態になります。

3) 電源〈POWER（⏻/|）〉ボタンを押す

〈電源モニター〉が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お知らせ

- 0 ℃付近での電源「入」は出画までに 5 分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。
  ウォームアップ中は〈温度モニター〉が点灯します。ウォームアップが完了すると〈温度モニター〉が消灯し、映像を投写します。
  モニターランプの詳細は、74 ページを参照してください。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が 5 分を超える場合は異常とみなし、自動的に電源を「スタンバイ状態」にします。この場合は使用環境温度を 0 ℃以上にして、再度主電源〈MAIN POWER〉スイッチ「切」→「入」の操作を行ってください。
- 「プロジェクターセットアップ」－「ECO マネージメント」メニューの「スタンバイモード」（☞61 ページ）で「ECO」に設定している場合は「ノーマル」に設定しているときと比べて、出画までにかかる時間が約 10 秒遅くなることがあります。
- 前回使用時にダイレクトパワーオフ機能を使用して、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にして終了した場合は、電源プラグをコンセントに接続した状態で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「入」にすると、しばらくして〈電源モニター〉が緑色に点灯し、映像が投写されます。
- 電源を入れたときや入力信号を切り換えたときに、高周波の駆動音がすることがありますが、故障ではありません。
- 〈電源モニター〉はスタンバイ状態で赤色に点灯し、映像投写時に緑色に点灯します。また、本体がリモコンの信号を受信すると点滅します。

調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

4)「初期設定」を設定する（☞ 15 ページ）

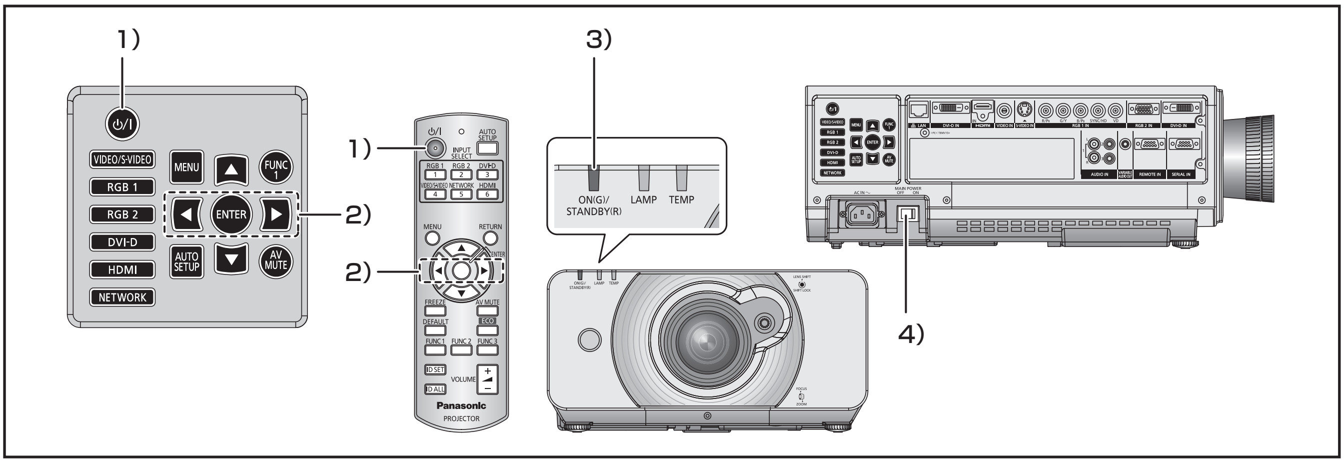
本機をご購入後、初めて電源を入れたとき、および「初期化」の「全ユーザーデータ」（☞67 ページ）を実行した場合、表示言語を設定する画面と、その他の初期設定を行う「初期設定」のメニュー画面が表示されます。

5) INPUT SELECT（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈NETWORK〉、〈HDMI〉）ボタンを押して入力信号を選択する

6) 投写角度を調整する

アジャスター脚を伸ばし、上方向に投写角度を調整できます。

7) 入力信号が RGB 信号の場合は〈AUTO SETUP〉ボタンを押す



電源を切る

1) 電源〈POWER（⏻/|）〉ボタンを押す

2) ◀ ▶ボタンで「実行」を選び、〈ENTER〉ボタンを押す（または、電源〈POWER（⏻/|）〉ボタンを再度押す）
映像の投写が停止し、本体の〈電源モニター〉がオレンジ色に点灯します。
（冷却ファンは回転したままです。）

3) 本体の〈電源モニター〉が赤色に点灯（冷却ファンが停止）するまで待つ
設定によっては、本体の〈電源モニター〉が赤色に点灯後でも、一部のファンは回転を続けます。

4) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの “○” 側を押して電源を切る

お知らせ

- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。**
  電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は〈電源モニター〉が赤色に点灯してから、電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- **本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、約 15 W の電力を消費しています。（スタンバイモード「ノーマル」時）**

ダイレクトパワーオフ機能

投写中や光源ランプ消灯直後に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にしても、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、光源ランプの冷却を行います。天つり設置など、プロジェクターの主電源〈MAIN POWER〉スイッチを容易に「切」にできない環境でも、直接電源ブレーカーで電源を落とすことができます。また、万一停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも安心です。

お知らせ

- 前回使用時に、投写中に直接電源ブレーカーで電源を落として終了した場合は、電源ブレーカーを「入」にするとしばらくして〈電源モニター〉が緑色に点灯し、映像投写へと移行します。
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、次回の電源「入」時に投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 運搬・保管のために梱包を行う場合、排気ファンが停止したことを確認してください。

投写する

外部機器の接続（☞26 ページ）と電源コードの接続（☞30 ページ）を確認し、電源を入れる（☞31 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換える。
INPUT SELECT（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈NETWORK〉、〈HDMI〉）ボタンで選択した映像が投写されます。（☞35ページ）

お 願 い

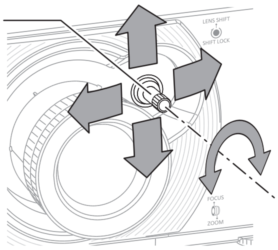
- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。「映像」メニューの「システムセレクター」（☞44 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「位置調整」メニューの「アスペクト」（☞46 ページ）で最適な縦横比に切り換えてください。

映像の映り具合を調整する

1)「シフトレバー」を反時計回りに回して「シフトレバー」のロックを解除する

2) レンズシフトを調整する

「シフトレバー」で投写位置を調整します。



- 調整範囲については、『レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲』をご覧ください。（☞34 ページ）

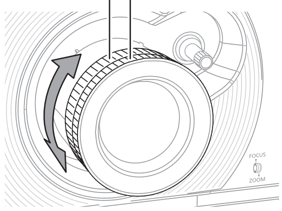
3)「シフトレバー」を時計回りに回して「シフトレバー」を固定する

4) 投写角度を調整する

- 詳しくは、『アジャスター脚の調整』をご覧ください。（☞25 ページ）

5) ズームとフォーカスを調整する

「ズームリング」と「フォーカスリング」を回して調整します。

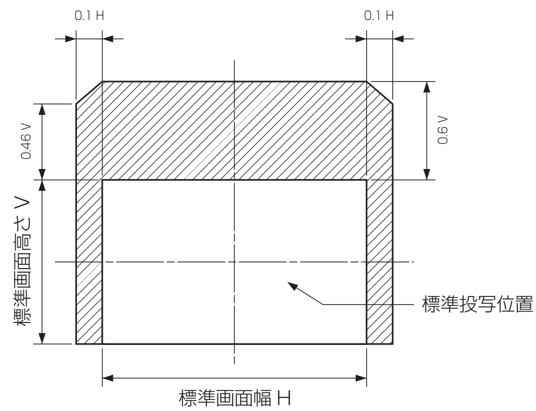
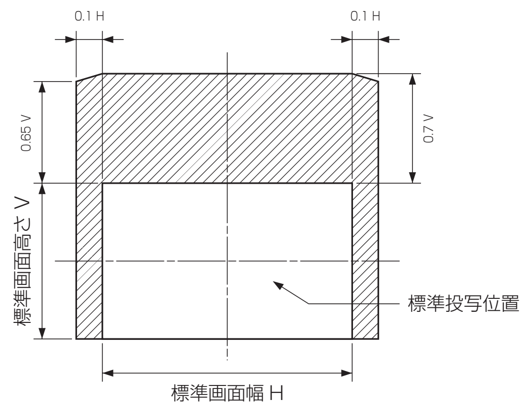
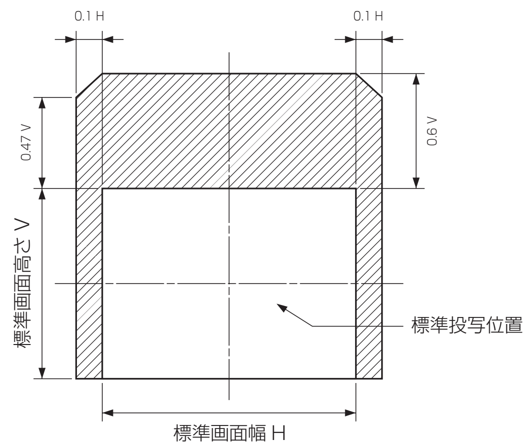


お知らせ

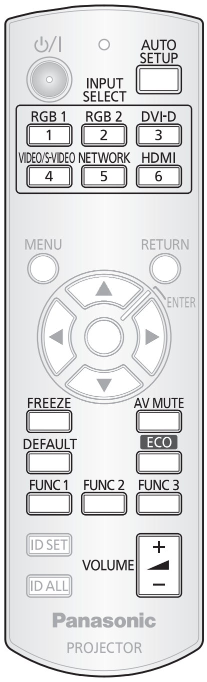
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 「フォーカスリング」を回すと投写サイズが変わるため「ズームリング」を回して、再度投写サイズを微調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞48 ページ）

レンズ位置移動による（光学シフト）調整範囲

レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、光学部品を保護するためレンズの移動に規制がかかり、フォーカスも変化します。
光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

<table>
<tr><td>PT-DZ570</td><td>
</td></tr>
<tr><td>PT-DW530</td><td>
</td></tr>
<tr><td>PT-DX500</td><td>
</td></tr>
</table>

リモコンで操作する



AV ミュート機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。

ボタン

1) リモコンまたは本体操作部の〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声が消えます。

2) 再度〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声がでます。

お知らせ

- AV ミュート中は〈電源モニター〉が点滅します。
- 本機はスピーカーを内蔵していません。音声は、音声出力端子に接続した外部の音響システムから出力することができます。

フリーズ表示機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止し、音声を消すことができます。

ボタン

1) リモコンの〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像が静止し、音声が消えます。

2) 再度〈FREEZE〉ボタンを押す

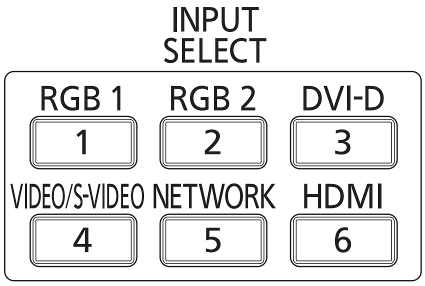
- 映像の静止が解除され、音声がでます。

お知らせ

- フリーズ中は画面に「フリーズ」と表示されます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。



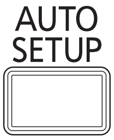
ボタン

リモコンまたは本体操作部の INPUT SELECT（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈NETWORK〉、〈HDMI〉）ボタンを押す

RGB1	RGB1 に入力を切り換えます
RGB2	RGB2 に入力を切り換えます
DVI-D	DVI-D に入力を切り換えます
VIDEO/ S-VIDEO	VIDEO または S-VIDEO に入力を切り換えます すでにいずれかの入力が選択されている場合は、もう一方の入力に切り換えます
NETWORK	NETWORK に入力を切り換えます
HDMI	HDMI に入力を切り換えます

オートセットアップ機能を使う

コンピューター信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置、または DVI-D/HDMI 信号入力時の映像位置を自動で調整することができます。自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをお勧めします。
写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。



ボタン

リモコンまたは本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

- 正常に終了した場合は「正常終了」と表示されます。

お知らせ

- 正常終了した場合でもクロックフェーズがずれることがあります。このときはメニュー項目の「クロックフェーズ」で調整してください。
  詳しくは、『「位置調整」について』の『クロックフェーズ』（☞48 ページ）をご覧ください。
- 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正しく調整できていなかったりすることがあります。このときは『「アドバンスドメニュー」について』の『入力解像度』（☞50 ページ）、『「位置調整」について』の『シフト』、『クロックフェーズ』（☞46、48 ページ）を参照し、調整してください。
- 特殊な信号は、『「表示オプション」について』の『自動調整』（☞55 ページ）を参照し、調整してください。
- コンピューターの機種によっては自動調整できない場合があります。
- コンポジットシンクや G-SYNC の同期信号では自動調整できない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
- 入力信号ごとに調整が必要です。
- 自動調整中に〈MENU〉ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても動画映像が入力されている状態でオートセットアップを行うと、「異常終了」となったり、「正常終了」と表示されても正常に調整できていなかったりすることがあります。

ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンまたは本体操作部の〈FUNC1〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。

ボタン

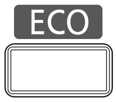
リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンまたは本体操作部の〈FUNC1〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは、『「プロジェクターセットアップ」について』の『ファンクションボタン』をご覧ください。（☞64 ページ）

エコボタンを使う

「ECO マネージメント」メニューを表示できます。



ボタン

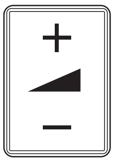
リモコンの〈ECO〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは、『「プロジェクターセットアップ」について』の『ECO マネージメント』をご覧ください。（☞61 ページ）

ボリュームを変更する

音声出力の音量を調整できます。

VOLUME  ボタン

リモコンの〈VOLUME〉（＋ / －）ボタンを押す

＋ボタン	音量を大きくする
－ボタン	音量を小さくする

オンスクリーンメニューについて

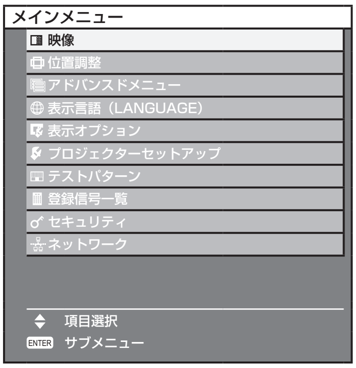
本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。

メニュー画面の操作方法

■操作の手順

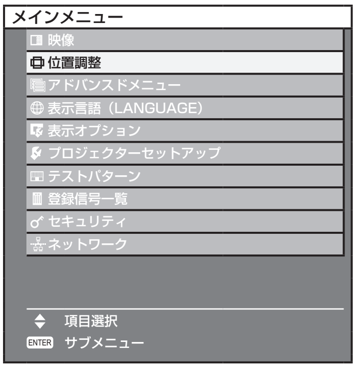
1)〈MENU〉ボタンを押す

「**メインメニュー**」画面が表示されます。



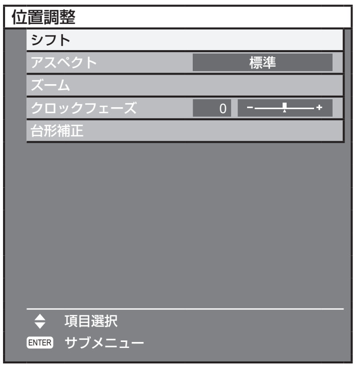
2)▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



3)〈ENTER〉ボタンを押して決定する

選択したメニュー項目の詳細が表示されます。



4)▲▼ボタンを押して項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

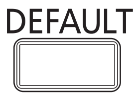
項目によって◀▶ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。

お知らせ

- メニュー画面を表示中に〈RETURN〉ボタンまたは、〈MENU〉ボタンを押すと、ひとつ前の階層メニュー画面に戻ります。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 約 5 秒間何も操作をせずに放置していると、個別調整画面は自動で消えます。
- メニューの項目については 39、40 ページをご覧ください。

■調整値を工場出荷時の状態に戻す

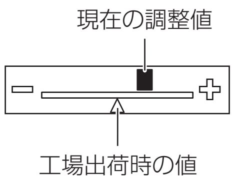
リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、メニュー項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。



を押す

お知らせ

- すべての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。
  サブメニュー項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、『「プロジェクターセットアップ」について』の『初期化』（☞67 ページ）をご覧ください。
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下にある三角マークは、工場出荷時の値を示しています。
  また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



■オンスクリーンの表示 / 非表示を設定する

本体または、リモコンの〈MENU〉ボタンを 3 秒以上長押しすると、オンスクリーンの設定画面が表示され、オンスクリーンの表示 / 非表示が設定できます。

お知らせ

- 「セキュリティ」メニューの「表示設定」が「オフ」以外の場合は、オンスクリーンの設定画面は表示できません。

メインメニュー

メインメニューには以下の 10 項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	映像
	位置調整
	アドバンスドメニュー
	表示言語（LANGUAGE）
	表示オプション
	プロジェクターセットアップ
	テストパターン
	登録信号一覧
	セキュリティ
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定・調整ができます。

■映像［ ］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード ※	41
ピクチャー	0	41
黒レベル	0	41
色の濃さ	0	42
色あい	0	42
色温度設定	デフォルト	42
白ゲイン	+10	43
シャープネス	6	43
ノイズリダクション	2	43
AI	オン	44
デイライトビュー	オート	44
システムセレクター	YP_BP_R ※	44

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

■位置調整［ ］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
シフト	—	46
アスペクト	オート ※	46
ズーム	—	47
クロックフェーズ	16	48
台形補正	—	48

■アドバンスドメニュー［ ］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
デジタルシネマリアリティー	オート ※	49
ブランキング	—	49
入力解像度	—	50
クランプ位置	24 ※	50
フレームレスポンス	通常	50
ラスターポジション	—	50

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

※: 入力信号により異なります

■表示言語（LANGUAGE）[ ]
項目の詳細（☞51 ページ）

■表示オプション [ ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
カラーマッチング	オフ	52
カラーコレクション	オフ	53
スクリーン設定	—	53
波形モニター *1	オフ	54
入力自動セットアップ	オフ	55
自動調整	—	55
RGB IN	—	56
DVI-D IN	—	56
HDMI IN	—	56
オンスクリーン表示	—	57
クローズドキャプション設定	オフ	57
バックカラー	ブルー	58
スタートアップロゴ	ロゴ 2	58
サブメモリー一覧	—	58
フリーズ	—	59
2 画面 *2	—	59

■プロジェクターセットアップ [ ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
プロジェクター ID	オール	60
投写方式	フロント / 床置	60
冷却条件	床置設置	60
高地モード	オフ	61
ランプパワー	ノーマル	61
ECO マネージメント	—	61
スケジュール	オフ	62
RS-232C	—	63
REMOTE 端子モード	標準	63
ファンクションボタン	—	64
音声設定	—	64
ステータス	—	65
日付と時刻	—	66
全ユーザーデータ保存	—	66
全ユーザーデータロード	—	66
初期化	—	67
サービスパスワード	—	67

■テストパターン [ ]
項目の詳細（☞68 ページ）

■登録信号一覧 [ ]
項目の詳細（☞69 ページ）

■セキュリティ [ ]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
セキュリティパスワード	オフ	70
セキュリティパスワード変更	—	70
表示設定	オフ	71
テキスト変更	—	71
メニューロック	オフ	71
メニューロックパスワード	—	71
操作設定	—	72

■ネットワーク [ ]
『取扱説明書　ネットワーク操作説明編』を参照してください。

サブメニュー項目	工場出荷時
プロジェクター名	NAME1234
有線 LAN	—
無線 LAN	—
ネットワークコントロール	—
ネットワークパスワード	オン
ネットワークパスワード変更	—
ライブモード割り込み	オン
コンピューター検索	—
マルチライブ	—
ネットワークステータス	—

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

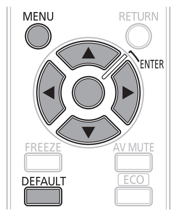
＊1: PT-DZ570 のみ
＊2: PT-DZ570、PT-DW530 のみ

「映像」について

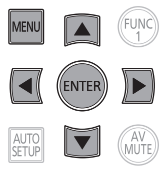
『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「映像」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら◀▶ボタンで調整してください。

リモコン



本体操作部



映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

1）▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

2）◀▶ボタンで「映像モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

スタンダード ⟷ シネマ ⟷ ナチュラル
↕ ナチュラル ⟷ REC709 ※
スタンダード ⟷ グラフィック
グラフィック ⟷ ダイナミック
REC709 ※ ⟷ 簡易 DICOM ※
ダイナミック ⟷ 簡易 DICOM ※

スタンダード	動画系全般に適した画像になります
シネマ	映画ソースに適した画像になります
ナチュラル	sRGB に準拠した画像になります
REC709 ※	ITU-R BT.709 規格に準拠した画像になります
簡易 DICOM ※	DICOM Part14 グレースケール規格に近い画像になります
ダイナミック	明るい場所で使用する場合に適した画像になります
グラフィック	コンピューター入力に適した画像になります

※:「映像モード」以外の設定は工場出荷時の設定にしてください。

お知らせ

- 工場出荷時の映像モードは、RGB 系では「グラフィック」、動画系では「スタンダード」です。
- DICOM とは「Digital Imaging and COmmunication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOM の名称を用いていますが、本機は医療機器ではありませんので、表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

ピクチャー

色の明暗度を調整します。

1）▲▼ボタンで「ピクチャー」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「ピクチャー」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります	最小値－ 31

お 願 い

- 黒レベルを調整する必要がある場合には、「黒レベル」を先に調整してください。

黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

1）▲▼ボタンで「黒レベル」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「黒レベル」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 31
◀ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値－ 31

色の濃さ

色の濃さを調整します。

1）▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**色の濃さ**」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります	最大値 31
◀ボタンを押す	色が薄くなります	最小値− 31

色あい

肌色の部分を調整します。

1）▲▼ボタンで「色あい」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**色あい**」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります	最大値 31
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります	最小値− 31

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

1）▲▼ボタンで「色温度設定」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**色温度設定**」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンで「色温度設定」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

デフォルト ⟷ ユーザー
↕ ↕
高 ⟷ 中

お知らせ

- 「カラーマッチング」（☞52 ページ）の調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー」固定になります。

■さらにお好みのホワイトバランスに調整する場合

4）手順 3）で「ユーザー」を選択する

5）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**色温度設定**」画面を表示します。

6）▲▼ボタンで「ホワイトバランス」を選択する

7）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**ホワイトバランス**」画面を表示します。

8）▲▼ボタンで「ホワイトバランス 高」または「ホワイトバランス 低」を選択する

9）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**ホワイトバランス 高**」画面、または「**ホワイトバランス 低**」画面を表示します。

10）▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」を選択する

11）◀▶ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
赤	▶ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値 高：255 低：127 最小値 高：0 低：–127 出荷設定値 高：255 低：0
	◀ボタンを押す	赤色が弱くなります	
緑	▶ボタンを押す	緑色が強くなります	
	◀ボタンを押す	緑色が弱くなります	
青	▶ボタンを押す	青色が強くなります	
	◀ボタンを押す	青色が弱くなります	

お知らせ

- 正しく調整しないと、すべての色が正常ではなくなります。調整が合わなくなった場合は、リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押せば、選択中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻すことができます。
- 内蔵テストパターン（☞68 ページ）では「色温度設定」はできません。必ず入力信号を投写させた状態で「色温度設定」を行ってください。

■「ユーザー」の名称を変更する場合

1. 手順 3）で「ユーザー」を選択する
2. 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「色温度設定」画面を表示します。
3. ▲▼ボタンで「色温度設定名称変更」を選択する
4. 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「色温度設定名称変更」画面を表示します。

5. ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
6. ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
   - 色温度設定名称が変更されます。

白ゲイン

映像の白色部分の明るさを調整します。

1) ▲▼ボタンで「白ゲイン」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「白ゲイン」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	白色の輝きが強くなります	最大値 10
◀ボタンを押す	自然な映像になります	最小値 0

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

1) ▲▼ボタンで「シャープネス」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「シャープネス」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります	0 ～ 15
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	

ノイズリダクション

入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

1) ▲▼ボタンで「ノイズリダクション」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「ノイズリダクション」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「ノイズリダクション」を切り換える
   - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

1（弱） ⟷ 2（中）
↕ ↕
オフ（補正なし） ⟷ 3（強）

お願い

- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

AI

映像に合わせて階調制御を行い、コントラスト感のある最適な映像を投写します。

1) ▲▼ボタンで「AI」を選択する

2) ◀▶ボタンで「AI」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

オン	AI 補正を有効
オフ	AI 補正を無効

デイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

1) ▲▼ボタンで「デイライトビュー」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「デイライトビュー」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「デイライトビュー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ（補正なし） ⟷ 1（弱） ⟷ 2（中）
↕ ↕
オート ⟷ 3（強）

お知らせ

- 「プロジェクターセットアップ」の「投写方式」で、「リア / 床置」または「リア / 天つり」を選択した場合、「オート」の設定はできません。
- プロジェクターの上面にものなどを置くと、「オート」モードが正常に動作しない場合があります。

システムセレクター

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定します。入力信号に合ったシステム方式を設定してください。

1) ▲▼ボタンで「システムセレクター」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

3) ▲▼ボタンでシステム方式を選択する

4)〈ENTER〉ボタンを押して決定する

■VIDEO/S-VIDEO 端子入力信号

オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 から選択します。

お願い

- 通常は「オート」に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

お知らせ

- 「オート」は、NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、PAL60 の中から自動的に判別します。

■RGB1/RGB2 端子入力信号

- 480i、576i、576p 入力時
  RGB、YC_BC_R から選択します。
- VGA60、480p 入力時
  VGA60、480p、480pRGB から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
  RGB、YP_BP_R から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』（☞87 ページ）を参照してください。

■DVI-D 端子入力信号

- 480p、576p 入力時
  RGB、YC_BC_R から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
  RGB、YP_BP_R から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』（☞87 ページ）を参照してください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。

■HDMI 端子入力信号

- 480p、576p 入力時
  オート、RGB、YC_BC_R から選択します。
- 上記以外の動画信号入力時
  オート、RGB、YP_BP_R から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、『対応信号リスト』（☞87 ページ）を参照してください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。

sRGB に準拠した映像にするには

sRGB とは、IEC（International Electrotechnical Commission）で定められた色再現国際規格（IEC61966-2-1）です。
sRGB に準拠した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行います。

1)「カラーマッチング」と「カラーコレクション」の調整を「オフ」に設定する
- 『カラーマッチング』（☞52 ページ）、『カラーコレクション』（☞53 ページ）を参照してください。

2)「映像」メニューを表示する
- 『「映像」について』（☞41 ページ）を参照してください。

3) ▲▼ボタンで「映像モード」を選択する

4) ◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する

5) ▲▼ボタンで「色の濃さ」を選択する

6) リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押し、工場出荷値にする

7)「色あい」「色温度設定」も、手順 5）～ 6）にしたがって工場出荷値にする

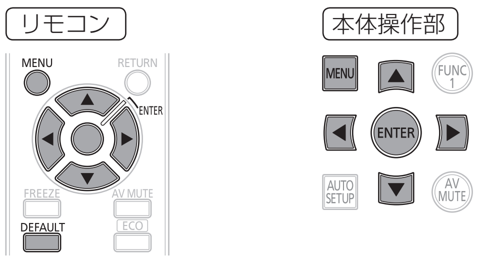
お知らせ
- RGB 信号入力時のみ、sRGB に対応します。

調整と設定

「位置調整」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「位置調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで調整してください。



シフト

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合に、上下左右に映像位置を移動します。

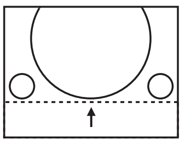
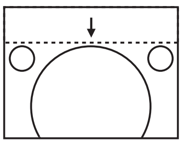
1）▲▼ボタンで「シフト」を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

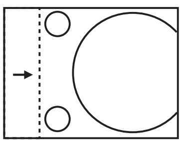
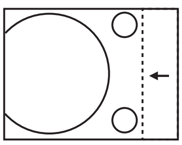
- 「**シフト**」画面を表示します。

3）▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■垂直位置（上下）調整の場合

操作	変化内容	
▲ボタンを押す	映像位置が上へ移動します	
▼ボタンを押す	映像位置が下へ移動します	

■水平位置（左右）調整の場合

操作	変化内容	
▶ボタンを押す	映像位置が右へ移動します	
◀ボタンを押す	映像位置が左へ移動します	

アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。
「スクリーン設定」で選択したスクリーン範囲でアスペクトを切り換えます。「スクリーン設定」を先に設定してください。（☞53 ページ）

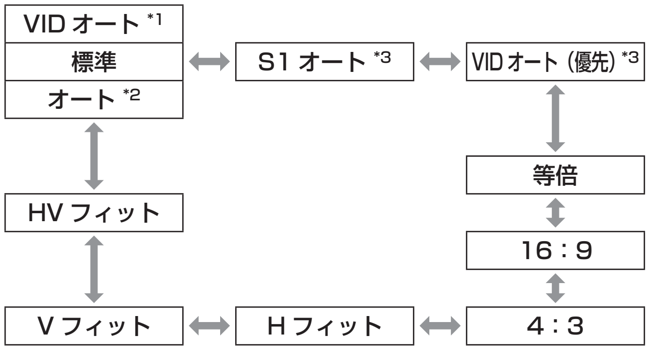
1）▲▼ボタンで「アスペクト」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**アスペクト**」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンで「アスペクト」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



＊1：VIDEO、S-VIDEO（NTSC）入力時のみ
＊2：RGB1、RGB2（480i、480p）入力時のみ
＊3：S-VIDEO（NTSC）入力時のみ

■標準

入力信号のアスペクト比のまま表示します。

■VID オート

映像信号に組み入れられたビデオ ID（VID）を識別し、4：3、16：9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。NTSC 信号入力時に有効です。

■オート

映像信号に組み入れられたビデオ ID（VID）を識別し、4：3、16：9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。480i/480p 信号入力時に有効です。

■S1 オート

S1 信号を識別し、4：3、16：9 の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■VID オート（優先）
VID、S1 信号を識別し、VID を検出した場合はVID に従い、VID を検出しない場合は S1 信号に従って４：3、16：９の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。S-VIDEO の NTSC 信号入力時に有効です。

■等倍
入力信号の解像度のまま表示します。

■16：9
標準信号入力時 *4 は、アスペクト比を 16：9 に変換して表示します。ワイド信号入力時 *5 は、入力アスペクト比のまま表示します。

■4：3
標準信号入力時 *4 は、入力アスペクト比のまま表示します。ワイド信号入力時 *5 は、「スクリーンフォーマット」で「4：3」を選択している場合、アスペクト比を４：３に変換して表示します。
「スクリーンフォーマット」が「4：3」以外の場合は、4：3 スクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して表示します。

■H フィット
「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の幅をすべて使って表示します。「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の下が切れて表示されます。

■V フィット
「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲の高さをすべて使って表示します。

■HV フィット
「スクリーンフォーマット」で選択したスクリーン範囲全体に映像を表示します。入力信号とスクリーン範囲のアスペクト比が異なる場合は、「スクリーンフォーマット」で選択されたスクリーンのアスペクトに変換して表示します。

＊4: 標準信号入力時とは、アスペクト比４：3、５：４の入力信号です。
＊5: ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16：10、16：9、15：9、15：10 の入力信号です。

お知らせ
- 入力信号によっては選択できないアスペクトモードがあります。NTSC 信号の場合、標準は選択できません。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差がでます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト調整、ズーム機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、注意してください。
- ワイド画面ではない従来（通常）の４：３の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、４：３の映像でご覧ください。

ズーム
画面サイズを調整します。

1) ▲▼ボタンで「ズーム」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 「ズーム」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「垂直」、「水平」を選択し◀▶ボタンで調整する

■「アスペクト」の設定を「標準」にしている場合

1) ▲▼ボタンで「モード」を選択する

2) ◀▶ボタンで「モード」を切り換える

インターナル	「スクリーンフォーマット」で設定された工場出荷時のアスペクト領域内でサイズを拡大します
フル	「スクリーンフォーマット」で設定された表示エリアの全領域を使って拡大します

3) ▲▼ボタンで「連動」を選択する

4）◀▶ボタンで「連動」を切り換える

オフ	「垂直」と「水平」のズーム比をそれぞれ設定します
オン	「水平垂直」でズーム比を設定します 垂直と水平を等倍で拡大することができます

お知らせ

- 「アスペクト」で「等倍」を選択した場合、「ズーム」は選択できません。
- 「アスペクト」で「標準」以外を選択した場合、「モード」は表示されません。

クロックフェーズ

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1）▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**クロックフェーズ**」個別調整画面を表示します。

3）◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0 ～ 31 まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

- 信号によって調整できない場合があります。
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- 「クロックフェーズ」を調整することができるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。
- デジタル信号入力時は調整することができません。

台形補正

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

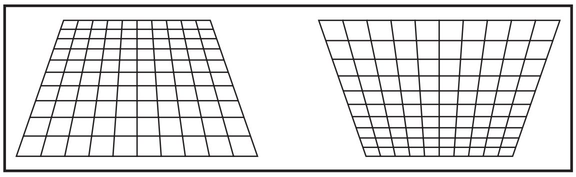
1）▲▼ボタンで「台形補正」を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

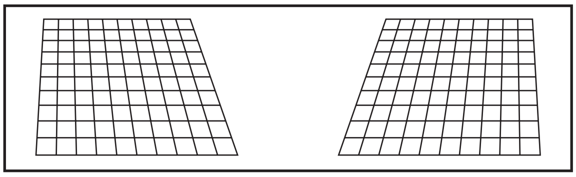
3）調整する項目を選ぶ

4）◀▶ボタンで調整する

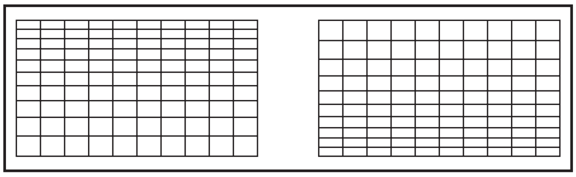
■台形補正



■サブ台形補正



■リニアリティ

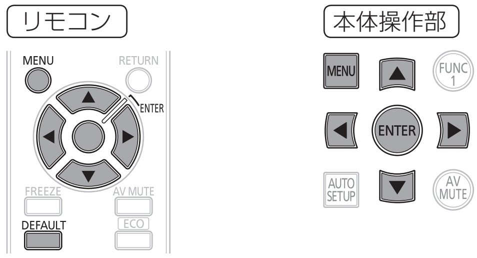


お知らせ

- 「台形補正」を設定した場合、メニューやロゴ、セキュリティメッセージのテキストがスクリーンからはみ出る場合があります。
- 「台形補正」は、縦方向の傾きに対して± 40 度まで補正できます。ただし、補正量が大きくなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 「台形補正」を行うと、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

「アドバンスドメニュー」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「アドバンスドメニュー」を選び、サブメニューから項目を選んでください。
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで調整してください。



デジタルシネマリアリティー

PAL（または SECAM）の 576i 信号や NTSC の 480i 信号、および 1 080/50i、1 080/60i 信号が入力されたとき、シネマ処理をして垂直解像度をさらに上げ、画質を向上させます。

1) ▲▼ボタンで「デジタルシネマリアリティー」を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- 「デジタルシネマリアリティー」個別調整画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「デジタルシネマリアリティー」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オート ⟷ **オフ**
↕ ↕
25p 固定（576i, 1 080/50i 信号入力時）
30p 固定（480i, 1 080/60i 信号入力時）

オート	自動検出し、シネマ処理をする（工場出荷設定値）
オフ	シネマ処理をしない
25p 固定	576i または 1 080/50i 信号が入力されたとき強制シネマ処理（2：2 プルダウン）になる
30p 固定	480i または 1 080/60i 信号が入力されたとき強制シネマ処理（2：2 プルダウン）になる

お知らせ
- 「デジタルシネマリアリティー」では、2：2 でプルダウンされた信号以外を「25p 固定」または、「30p 固定」に設定すると、画質が劣化します。（垂直解像度が悪くなります。）

ブランキング

ビデオデッキなどの映像投写時、画面端にノイズがでている場合や、スクリーンから画像がわずかにはみ出している場合などにブランキング幅を調整します。

1) ▲▼ボタンで「ブランキング」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 「ブランキング」調整画面を表示します。

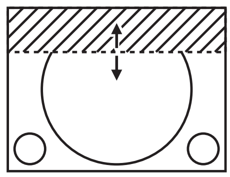
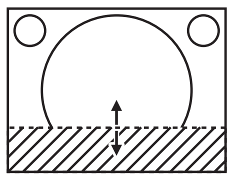
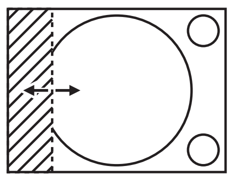
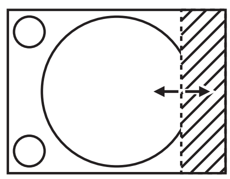
3) ▲▼ボタンで調整項目を選択する

4) ◀▶ボタンでブランキング調整する
- 下記の範囲で変化します。

PT-DZ570 の場合
左右 0 ～ 959、上下 0 ～ 599

PT-DW530 の場合
左右 0 ～ 639、上下 0 ～ 399

PT-DX500 の場合
左右 0 ～ 511、上下 0 ～ 383

画面上側ブランキング補正（上）の場合	
◀ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、▶ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面下側ブランキング補正（下）の場合	
▶ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、◀ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する	
画面左側ブランキング補正（左）の場合	
▶ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、◀ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	
画面右側ブランキング補正（右）の場合	
◀ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、▶ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する	

調整と設定

入力解像度

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1) ▲▼ボタンで「入力解像度」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**入力解像度**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「総ドット数」、「表示ドット数」、「総ライン数」または「表示ライン数」を選択し、◀▶ボタンで調整する

- 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 「入力解像度」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で RGB 信号を入力した場合のみです。

クランプ位置

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合に最良点に調整します。

1) ▲▼ボタンで「クランプ位置」を選択する

2) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は 1 ～ 255 まで変化します。
- **クランプ位置調整の最適値**
  黒部分がつぶれている場合：
  黒部分のつぶれが最も改善する点が最適値です。
  黒部分が緑色になっている場合：
  緑色部分が黒くなりつぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ

- 「クランプ位置」の調整ができるのは、RGB1、RGB2 入力で信号を入力した場合のみです。
- 信号によって調整できない場合があります。

フレームレスポンス

1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF 信号が入力されたとき、映像処理を簡略化することにより、映像のフレーム遅延を短くします。

1) ▲▼ボタンで「フレームレスポンス」を選択する

2) ◀▶ボタンで「フレームレスポンス」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

通常 ⟷ 高速

通常	画質を優先する設定です
高速	時間のズレを抑制する設定です

お知らせ

- 「通常」選択時の方が、高画質の映像がご覧いただけます。
- 「ノイズリダクション」の設定が「1」、「2」または「3」の場合は、「フレームレスポンス」機能は使用できません。

ラスターポジション

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動します。

1) ▲▼ボタンで「ラスターポジション」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**ラスターポジション**」画面を表示します。

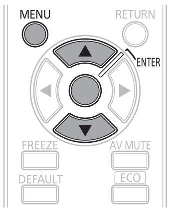
3) ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

「表示言語（LANGUAGE）」について

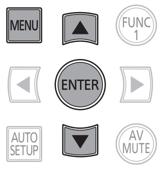
『メニュー画面の操作方法』（☞38ページ）のメインメニューから「表示言語（LANGUAGE）」を選び、サブメニューを表示させます。

- ▲▼ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。

リモコン

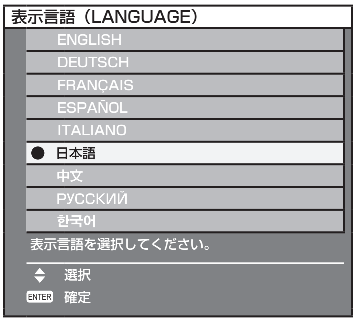


本体操作部



表示言語を切り換える

オンスクリーンの表示言語を切り換えます。



- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、日本語、中国語、ロシア語、韓国語の切り換えができます。

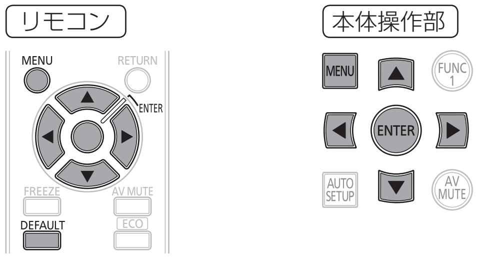
お知らせ

- 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。（工場出荷時）

「表示オプション」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら◀ ▶ボタンで設定してください。



カラーマッチング

複数のセットを同時に使うような場合に、セット間の色ばらつきを補正します。

1) ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

2) ◀ ▶ボタンで「カラーマッチング」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ 3 カラーズ
↕ ↕
測定 ⟷ 7 カラーズ

オフ	カラーマッチングの調整をしません
3 カラーズ	「赤」「緑」「青」の 3 色を調整することができます
7 カラーズ	「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の 7 色を調整することができます
測定	このモードについての詳細は、『■測定器を用いたカラーマッチング調整』（☞このページ）をご覧ください

■手順 2）で「3 カラーズ」または「7 カラーズ」を選択した場合

3)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**3 カラーズ**」または「**7 カラーズ**」画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」（「7 カラーズ」の場合は、「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」）を選択する

5)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**3 カラーズ：赤**」、「**3 カラーズ：緑**」、「**3 カラーズ：青**」または「**3 カラーズ：白**」※画面を表示します。
「**7 カラーズ**」の場合は、「**7 カラーズ：赤**」、「**7 カラーズ:緑**」、「**7 カラーズ:青**」、「**7 カラーズ:シアン**」、「**7 カラーズ:マゼンタ**」、「**7 カラーズ：イエロー**」または「**7 カラーズ：白**」画面を表示します。
- 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。

※:「3 カラーズ:白」はゲインのみ調整できます。

6) ◀ ▶ボタンで調整する

- 調整値は 0 ～ 2 048 ※ まで変化します。

※: 入力信号により異なります。

お知らせ

- 調整色を補正する場合の動作
調整色と同じ補正色を動かす場合：調整色の輝度が変化します。
補正色赤を動かす場合：調整色に赤を加減します。
補正色緑を動かす場合：調整色に緑を加減します。
補正色青を動かす場合：調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方またはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべて〈DEFAULT〉ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- 「カラーマッチング」の調整を「オフ」以外に設定した場合、「色温度設定」は「ユーザー」固定になります。

■測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「白」の色をお好みの色に変更することができます。

●現在の輝度と色度座標を入力する

1） ▲▼ボタンで「カラーマッチング」を選択する

2） ◀ ▶ボタンで「測定」を選択する

3）〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**カラーマッチング：測定**」画面を表示します。

4） ▲▼ボタンで「測定データ」を選択する

5）〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**測定データ**」画面を表示します。

6） 色彩色度計で輝度（Y）と色度座標（x、y）を測定する

7）▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンで数値を調整する
- 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。

8）すべての入力が終わったら、〈MENU〉ボタンを押す
- 「**カラーマッチング：測定**」画面を表示します。

●お好みの色の座標を入力する（「測定」のみ）

9）▲▼ボタンで「ターゲットデータ」を選択する

10）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**ターゲットデータ**」画面を表示します。

11）▲▼ボタンで色を選択し、◀▶ボタンでお好みの色の座標を入力する
- 「自動テストパターン」を「オン」にすると、選択した色のテストパターンを表示します。

12）すべての入力が終わったら、〈MENU〉ボタンを押す

お知らせ

- ターゲットデータが本機の色域外の場合、正しい色が表示できません。

カラーコレクション

入力信号の方式ごとに、色の調整・登録をすることができます。

1）▲▼ボタンで「カラーコレクション」を選択する

2）◀▶ボタンで「カラーコレクション」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ ユーザー

オフ	標準設定
ユーザー	VIDEO、S-VIDEO、RGB、YP_BP_R/YC_BC_R の４つの信号方式ごとに「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」の６色を調整し、登録することができます

■手順２）で「ユーザー」を選択した場合

3）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**カラーコレクション**」画面を表示します。

4）▲▼ボタンで「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」を選択する

5）◀▶ボタンで調整する
- 調整値は－30～＋30まで変化します。

スクリーン設定

スクリーンサイズを設定します。
投写映像のアスペクト変更の際に、設定したスクリーンに合わせて最適な映像位置に補正します。ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。

1）▲▼ボタンで「スクリーン設定」を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**スクリーン設定**」画面を表示します。

3）◀▶ボタンで「スクリーンフォーマット」を切り換える

■PT-DZ570

16：10 ⟷ 4：3 ⟷ 16：9（16：9 ⟷ 16：10）

■PT-DW530

16：9 ⟷ 16：10

■PT-DX500

4：3 ⟷ 16：9

4）◀▶ボタンで「スクリーン位置」を調整する

お知らせ

- PT-DZ570/PT-DW530で「スクリーンフォーマット」が「16：10」のとき、またはPT-DX500で「スクリーンフォーマット」が「4：3」のとき、「スクリーン位置」は調整できません。

波形モニター（PT-DZ570 のみ）

接続した外部機器からの入力信号を用いて波形表示します。映像出力（輝度）信号レベルが本機の推奨する範囲に収まっているかを確認し、調整することができます。

1) ▲▼ボタンで「波形モニター」を選択する

2) ◀▶ボタンで「波形モニター」機能を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

3) 〈MENU〉ボタンを 2 回押してメニュー画面を消す

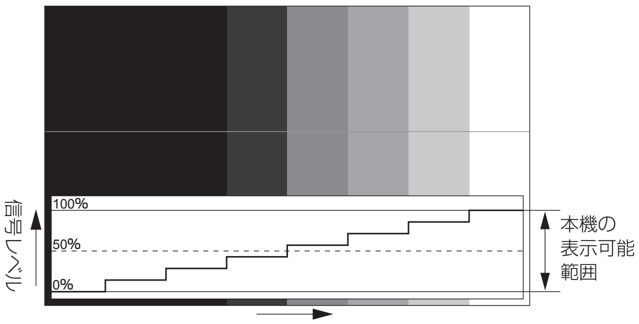
4) ▲▼ボタンで任意の横ラインを選択する

- 波形モニターのみを表示しているとき、〈ENTER〉ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

Y（輝度） → R（赤） → G（緑） → B（青） → Y（輝度）

■波形を調整する

市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号（0 %［0 IRE または 7.5 IRE］～ 100 %［100 IRE］）を投写し、調整を行います。



●輝度の調整

1) 波形モニターの「Y（輝度）」を選択する

2) 黒レベルを調整する

- オンスクリーンメニュー「映像」の「黒レベル」で、映像信号の黒レベル 0 %を波形モニターの 0 %の位置に調整します。

3) 白レベルを調整する

- オンスクリーンメニュー「映像」の「ピクチャー」で、映像信号の白レベル 100 %を波形モニターの 100 %の位置に調整します。

●赤、緑、青の調整

1)「色温度設定」を「ユーザー」にする（☞42 ページ）

2) 波形モニターの「R（赤）」を選択する

3) 赤の暗部を調整する

- 「ホワイトバランス 低」の「赤」で、映像信号の黒レベル 0 %を波形モニターの 0 %の位置に調整します。（☞42 ページ）

4) 赤の明部を調整する

- 「ホワイトバランス 高」の「赤」で、映像信号の白レベル 100 %を波形モニターの 100 %の位置に調整します。（☞42 ページ）

5)「赤」の手順と同様に「緑」、「青」の調整をする

お知らせ

- DVI-D 信号、HDMI 信号の場合は「DVI 信号レベル」「HDMI 信号レベル」の設定が正しいことを、黒レベル調整より先に確認してください。
- 波形モニターの表示に台形補正はかかりません。
- オンスクリーン表示が非表示（オフ）のときは波形モニターも表示されません。（☞38 ページ）

入力自動セットアップ

オートセットアップの自動実行を設定します。
会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押さなくても画面表示位置や信号レベルを自動で調整することができます。

1) ▲▼ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する

2) ◀▶ボタンで「入力自動セットアップ」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

オフ	入力自動セットアップ機能をオフにします
オン	未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います

自動調整

特殊な信号や横長（16：9 等）の信号を調整するときに設定します。

1) ▲▼ボタンで「自動調整」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す
- 「**自動調整**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「モード」を選択する

4) ◀▶ボタンで「モード」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

標準 ⟷ ワイド ⟷ ユーザー（ユーザー ⟷ 標準）

標準	画像アスペクトが 4：3、5：4 の信号を受像する場合（対応解像度は、640 × 400、640 × 480、800 × 600、832 × 624、960 × 720、1 024 × 768、1 152 × 864、1 152 × 870、1 280 × 960、1 280 × 1 024、1 600 × 1 200、1 400 × 1 050 です）
ワイド	画像アスペクトがワイドの信号を受像する場合（対応解像度は、720 × 400、848 × 480、1 280 × 720、1 024 × 600、1 120 × 750、1 440 × 900、1 680 × 1 050 です）
ユーザー	特殊な水平解像度（表示ドット数）の信号を受像する場合

5)「ユーザー」を選択した場合は▲▼ボタンで「表示ドット数」を選択し、◀▶ボタンで信号源の水平解像度を設定する

6)〈ENTER〉ボタンを押す
- 自動調整を実行します。自動調整中は「実行中」と表示されます。終了すると入力画面に戻ります。

■位置を自動で調整する場合

1. 手順 3）で「位置自動調整」を選択する

2. ◀▶ボタンで「位置自動調整」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

オフ	自動調整を行いません
オン	オートセットアップ実行時に画面の位置、サイズを調整します

■信号レベルを自動で調整する場合

1. 手順 3）で「信号レベル自動調整」を選択する

2. ◀▶ボタンで「信号レベル自動調整」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

オフ	自動調整を行いません
オン	オートセットアップ実行時に黒レベル（オンスクリーンメニュー「黒レベル」）と白レベル（オンスクリーンメニュー「ピクチャー」）を調整します

お知らせ
- 「信号レベル自動調整」は白と黒がはっきりした静止映像を入力しないと正しく動作しないことがあります。

RGB IN（RGB 信号入力時のみ対応）

同期信号入力の入力インピーダンスを切り換えます。

1) ▲▼ボタンで「RGB IN」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「RGB IN」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「RGB1 同期信号終端抵抗」または「RGB2 同期信号終端抵抗」を選択する

4) ◀▶ボタンで切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

低 ⟷ 高

低	入力インピーダンスを「低」にします
高	入力インピーダンスを「高」にします

DVI-D IN

本機と外部機器とを DVI で接続しているときに正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。

1) ▲▼ボタンで「DVI-D IN」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「DVI-D IN」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「DVI EDID」を選択する

4) ◀▶ボタンで「DVI EDID」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

EDID3 ⟷ EDID1 ⟷ EDID2 : PC（EDID2 : PC ⟷ EDID3）

EDID3	動画系、静止画系の映像信号を自動的に切り換えて投写します
EDID1	動画系の映像信号を出力する外部機器（DVD プレーヤーなど）が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します
EDID2 : PC	静止画系の映像信号を出力する外部機器（コンピューターなど）が DVI-D IN に接続されているときに主に選択します

5) ▲▼ボタンで「DVI 信号レベル」を選択する

6) ◀▶ボタンで「DVI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-255 : PC ⟷ 16-235

0-255 : PC	外部機器（コンピューターなど）が DVI 端子出力で接続している場合などで選択します
16-235	外部機器（DVD プレーヤーなど）が HDMI 端子出力で変換ケーブルなどを使用し接続している場合などで選択します

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を変更するとプラグアンドプレイ用のデータが変更されます。プラグアンドプレイ対応可能な解像度は『対応信号リスト』（☞87 ページ）をご確認ください。

HDMI IN

本機と外部機器とを HDMI で接続しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

1) ▲▼ボタンで「HDMI IN」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「HDMI IN」画面を表示します。

3) ◀▶ボタンで「HDMI 信号レベル」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

0-1023 ⟷ 64-940

0-1023	外部機器（コンピューターなど）の DVI 端子出力を、変換ケーブルなどを使用して HDMI IN に接続している場合などに選択します
64-940	外部機器（DVD プレーヤーなど）の HDMI 端子出力を HDMI IN に接続している場合などに選択します

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- HDMI 信号レベルの表示は、入力が 30 bit 時の表示としています。

オンスクリーン表示

スクリーン表示を設定します。

1) ▲▼ボタンで「オンスクリーン表示」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**オンスクリーン表示**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

■OSD 位置

オンスクリーンメニュー（OSD）の位置を設定します。

2（画面の左中部） ⟷ 3（画面の左下部）
↕ ↕
1（画面の左上部） 4（画面の中央上部）
↕ ↕
9（画面の右下部） 5（画面の中央部）
↕ ↕
8（画面の右中部） ⟷ 7（画面の右上部）（6（画面の中央下部）経由）

■OSD デザイン

オンスクリーンメニュー（OSD）の色を設定します。

1：黄色 ⟷ 2：青色
↕ ↕
6：茶色 3：白色
↕ ↕
5：桃色 ⟷ 4：緑色

■OSD メモリー

オンスクリーンメニュー（OSD）のカーソルの位置の保持状態を設定します。

オン ⟷ オフ

お知らせ

- 「オン」に設定している場合でも、本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にすると、カーソル位置は保持されません。

■入力ガイド

INPUT SELECT（〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈NETWORK〉、〈HDMI〉）ボタンを押したときに、入力ガイド（入力端子名、信号名、メモリー番号、ネットワーク情報）を表示するかどうかを設定します。

オン ⟷ オフ

■警告メッセージ

警告メッセージの表示を設定します。

オン ⟷ オフ

クローズドキャプション設定
（NTSC、525i（480i）入力時のみ）

クローズドキャプションを設定します。

1) ▲▼ボタンで「クローズドキャプション設定」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**クローズドキャプション設定**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

■クローズドキャプション

クローズドキャプションを表示するかどうかを設定します。

オフ ⟷ オン

■モード

クローズドキャプションのモードを設定します。

CC1 ⟷ CC2
↕ ↕
CC4 ⟷ CC3

お知らせ

- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するソフトによってはキャプションが表示できません。
- NTSC、525i（480i）信号が入力されている場合にのみ「クローズドキャプション」を選択できます。
- 選択したモードのクローズドキャプション信号が入力された場合、セキュリティメッセージ（セキュリティのテキストとロゴ）は表示されません。（☞71 ページ）
- 「台形補正」の補正量が大きい場合、文字が欠ける場合があります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

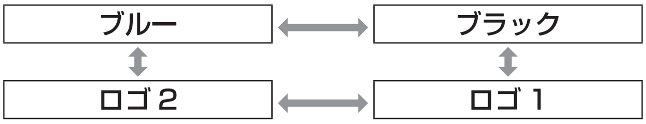
バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

1) ▲▼ボタンで「バックカラー」を選択する

2) ◀▶ボタンで「バックカラー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示
ロゴ 1	投写画面にユーザーが登録した画像を表示します
ロゴ 2	投写画面に Panasonic ロゴを表示します

お知らせ

- 「ロゴ 1」の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている『ロゴ転送ソフトウェア』を使用します。

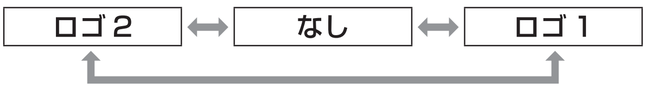
スタートアップロゴ

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

1) ▲▼ボタンで「スタートアップロゴ」を選択する

2) ◀▶ボタンで「スタートアップロゴ」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



ロゴ 2	Panasonic ロゴを表示します
なし	スタートアップロゴ表示を無効にします
ロゴ 1	ユーザーが登録した画像を表示します

お知らせ

- 「ロゴ 1」の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている『ロゴ転送ソフトウェア』を使用します。
- スタートアップロゴは、約 15 秒で消えます。

サブメモリー一覧

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。
同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。
サブメモリーには画面アスペクト比、「映像」項目で調整したデータ（「ピクチャー」、「黒レベル」等）など、信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

■サブメモリーへの登録方法

1) ▲▼ボタンで「サブメモリー一覧」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- サブメモリーが登録されていない場合はサブメモリー登録確認画面を表示します。
- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。
- 通常画面（メニューが表示されていない状態）のときに、◀▶ボタンを押すことでも「サブメモリー一覧」が表示できます。

2) 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する

3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**登録信号名変更**」画面を表示します。

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 登録信号の名前を変更する場合は、『登録信号の名前の変更』（☞69 ページ）の手順 4)、5）を行ってください。

■サブメモリーへの切り換え方法

1) ▲▼ボタンで「サブメモリー一覧」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。

2) 「サブメモリー一覧」において▲▼◀▶ボタンで切り換える信号を選択する

3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 手順 2）で選択した信号に切り換わります。

■サブメモリーの削除方法

「**登録信号一覧**」または「**サブメモリー一覧**」画面で〈DEFAULT〉ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーが削除されます。

フリーズ

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を止めます。

1) ▲▼ボタンで「フリーズ」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

● 〈RETURN〉ボタンを押すと解除されます。

2 画面（PT-DZ570、PT-DW530 のみ）

メイン画面中に別の小さなサブ画面を配置することで、2 つの映像を同時に投写することができます。

1) ▲▼ボタンで「2 画面」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

● 2 画面表示になります。

3)〈MENU〉ボタンを押す

● 「**2 画面**」画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで各項目を選択する

2 画面モード	⟷	メイン入力
↕		↕
2 画面オフ	⟷	サブ入力

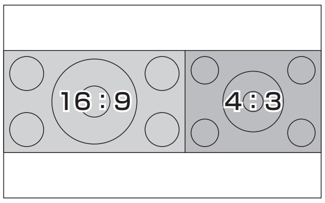
2 画面モード	2 画面の表示パターンを「モード 1」～「モード 4」の中から選択します ● 手順 4）で「2 画面モード」を選択後、◀▶ボタンで「モード 1」～「モード 4」の各モードに切り換えます
メイン入力	メイン入力として表示する入力端子を設定します ● 手順 4）で「メイン入力」を選択後、〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで「VIDEO」、「S-VIDEO」、「RGB1」、「RGB2」、「DVI-D」、「HDMI」、「NETWORK」から選択して〈ENTER〉ボタンで決定します
サブ入力	サブ入力として表示する入力端子を設定します ● 手順 4）で「サブ入力」を選択後、〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで「VIDEO」、「S-VIDEO」、「RGB1」、「RGB2」、「DVI-D」、「HDMI」、「NETWORK」から選択して〈ENTER〉ボタンで決定します
	クロックフェーズ： サブ入力が RGB1 または RGB2 のとき、画像のちらつきや輪郭のにじみがみられる場合に 0 ～ 31 の間で設定します ● 手順 4）で「サブ入力」を選択後、〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで「クロックフェーズ」を選択して◀▶ボタンで数値を変更します
2 画面オフ	2 画面機能をオフにします ● 手順 4）で「2 画面オフ」を選択後、〈ENTER〉ボタンで決定します

お知らせ

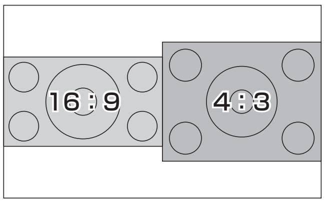
● 入力されている信号および選択されている入力端子によっては 2 画面機能を使用することができません。詳しくは、『2 画面表示組み合わせ一覧』（☞86 ページ）をご覧ください。
● 「映像モード」、「ガンマ選択」、「色温度設定」などの映像調整値はメイン入力の設定値が適用されます。

■「2 画面モード」の各選択項目について

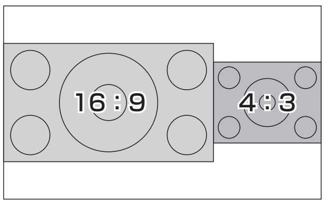
モード 1：
スクリーンフォーマットの水平サイズをフルに使用して表示する



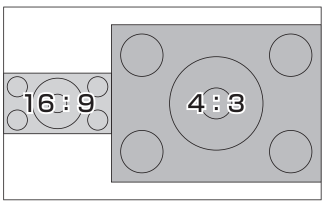
モード 2：
画面水平比率メイン画面：サブ画面を 1 対 1 で表示する



モード 3：
画面水平比率メイン画面：サブ画面を 2 対 1 で表示する



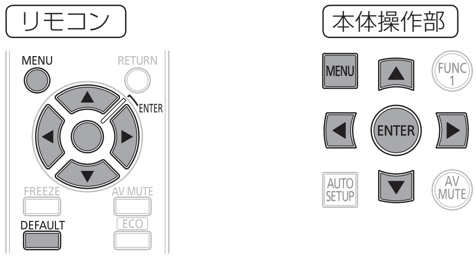
モード 4：
画面水平比率メイン画面：サブ画面を 1 対 2 で表示する



「プロジェクターセットアップ」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）の
メインメニューから「プロジェクターセットアップ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。



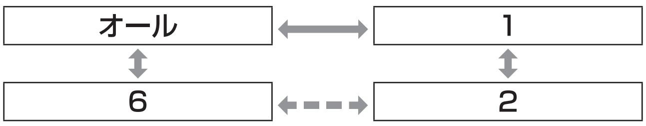
プロジェクター ID

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

1) ▲▼ボタンで「プロジェクター ID」を選択する

2) ◀▶ボタンで「プロジェクター ID」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



お知らせ

- ID ナンバーは「オール」「1」～「6」まで設定可能です。
- ID ナンバーを指定した場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定しても動作します。
本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンの ID 設定の方法は『リモコンの ID ナンバーを指定する』(☞19 ページ) を参照してください。

投写方式

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

1) ▲▼ボタンで「投写方式」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**投写方式**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで投写方式を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

5) 確認のメッセージが表示されるので、「実行」または「中止」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

フロント / 床置	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
リア / 床置	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

お 願 い

- 「投写方式」を変更した場合は、「冷却条件」が正しく設定されているか確認してください。

冷却条件

投写する方向によってファンの制御を変更します。投写する方向に合わせ、下図を参考にして「冷却条件」を正しく設定してください。誤った設定のままで使用するとランプの寿命を早める原因になります。

1) ▲▼ボタンで「冷却条件」を選択する

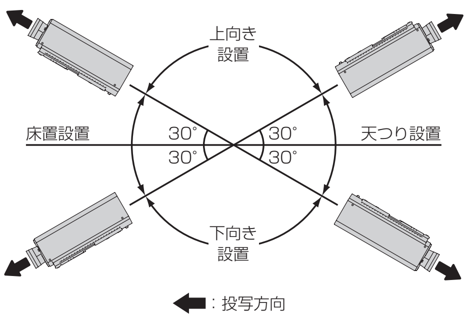
2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**冷却条件**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで冷却条件を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

5) 確認のメッセージが表示されるので、「実行」または「中止」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す



高地モード

海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満の場所で使用する場合は、「オン」に設定します。

1) ▲▼ボタンで「高地モード」を選択する

2) ◀▶ボタンで「高地モード」を切り換える

オフ ⟷ オン

オフ	通常の環境（海抜 1 400 m 未満）で使用する場合
オン	高地（海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満）で使用する場合

3) 確認のメッセージが表示されるので、「実行」または「中止」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

ランプパワー

本機のランプ電力を切り換えます。使用環境や目的に合わせて設定してください。

1) ▲▼ボタンで「ランプパワー」を選択する

2) ◀▶ボタンで「ランプパワー」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

ノーマル ⟷ ECO

ノーマル	高い輝度が必要なときに設定
ECO	高い輝度を必要としないときに設定

お知らせ

- 「ECO」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプ寿命の延長を図ることができます。

ECO マネージメント

使用状態に応じてランプ電力を最適化し、消費電力を低減する機能です。

1) ▲▼ボタンで「ECO マネージメント」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 「ECO マネージメント」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで ECO マネージメントを選択する

4) ◀▶ボタンで設定を切り換える

■省エネ設定

「環境照度連動」、「無信号連動」、「AV ミュート連動」の 3 つの機能を有効にするかどうかを設定します。

1. 手順 3）で「省エネ設定」を選択する

2. ◀▶ボタンで「省エネ設定」のオン（有効）/ オフ（無効）を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

3. ▲▼ボタンで省エネ設定の条件を選択する

環境照度連動	設置場所の明るさにより、ランプ電力を調整します。
無信号連動	無信号時、ランプ電力を下げます。
AV ミュート連動	AV ミュート時、ランプ電力を下げます。

4. ◀▶ボタンで、選択した条件のオン（有効）/ オフ（無効）を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

お知らせ

- 以下の場合は「ランプパワー」が自動で低下しないことがあります。
  - ・「ランプパワー」を「ECO」に設定している場合
  - ・ランプ点灯直後や「ランプパワー」設定直後などの場合
- 「省エネ」設定が「オフ」の場合、「環境照度連動」、「無信号連動」、「AV ミュート」連動の設定はできません。

■無信号自動オフ

設定時間までに入力信号がないと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

1. 手順 3）で「無信号自動オフ」を選択する

2. ◀▶ボタンで「無信号自動オフ」を切り換える

無効	無信号自動オフ無効
10 分～ 90 分	10 分間隔で設定可能

■スタンバイモード

スタンバイ時の電力を設定します。

1. 手順 3）で「スタンバイモード」を選択する

2. ◀▶ボタンで「スタンバイモード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

ノーマル ⟷ ECO

お知らせ

- 「ECO」に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能の使用はできません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。電源「入」後の出画が「ノーマル」設定時と比べて約 10 秒遅くなることがあります。
- 「ノーマル」に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能が使用できます。

スケジュール

コマンドの実行スケジュールを曜日ごとに設定します。

■スケジュール機能の有効化方法

1）▲▼ボタンで「スケジュール」を選択する

2）◀▶ボタンで「スケジュール」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オン ⟷ オフ

お知らせ

- 「スケジュール」を「オン」に設定すると、「スタンバイモード」の設定は強制的に「ノーマル」となり設定の変更はできなくなります。この状態で「スケジュール」を「オフ」にしても、「スタンバイモード」の設定は「ノーマル」のままです。

■プログラムの割り当て方法

1）「スケジュール」が「オン」の状態で〈ENTER〉ボタンを押す

- 「スケジュール」画面を表示します。

2）曜日ごとにプログラムを選択し割り当てる

- ▲▼ボタンで曜日を選び、◀▶ボタンでプログラム番号を選択します。
- プログラムは、プログラム番号 1 ～ 7 まで設定できます。“- - -”は未設定を表します。

■各プログラムの設定方法

1 プログラムにつき 16 コマンドまでの設定ができます。

1）「スケジュール」画面で、▲▼ボタンで「プログラム編集」を選択する

2）◀▶ボタンで設定したいプログラム番号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

3）▲▼ボタンでコマンド番号を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- ◀▶ボタンでページの切り換えができます。

4）▲▼ボタンで「時刻」「コマンド」のいずれかを選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

- 「コマンド」を選択後〈ENTER〉ボタン押すと、詳細設定ができます。

時刻	コマンドを実行する時刻を、▲▼ボタンで設定します
コマンド	設定した時刻に実行するコマンドを、以下のいずれかから選択します ・電源オン ・スタンバイ ・AV ミュート オン ・AV ミュート オフ ・RGB1 入力 ・RGB2 入力 ・VIDEO 入力 ・S-VIDEO 入力 ・DVI-D 入力 ・HDMI 入力 ・NETWORK 入力 ・ランプパワー ノーマル ・ランプパワー ECO ・2 画面 オフ ・2 画面 モード 1 ・2 画面 モード 2 ・2 画面 モード 3 ・2 画面 モード 4 ・スタンバイ時動作（音声）オン ・スタンバイ時動作（音声）オフ ・音量

5）▲▼ボタンで「登録」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- ランプの短期間点滅を行うような設定を登録しようとすると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度時刻とコマンドの設定を行ってください。
- すでに設定されているコマンドを削除する場合は、〈DEFAULT〉ボタンを押してください。
- 同じ時刻に設定されたコマンドは、コマンド番号の若い順に実行されます。
- 時刻はローカル時刻で動作します。(☞66ページ)
- 「スケジュール」で設定されたコマンドの実行前に、リモコンや本体操作部での操作、制御コマンドによる操作を実行した場合、本機能で設定したコマンドが実行されないことがあります。

RS-232C

通信条件を設定します。

1）▲▼ボタンで「RS-232C」を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- 「RS-232C」画面を表示します。

3）▲▼ボタンを押して通信条件を選択する

4）◀▶ボタンを押して設定を切り換える

お知らせ

- 『シリアル端子について』（☞82ページ）をご覧ください。

■「エミュレート」の選択項目について

本機のシリアル入力端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用することができます。

1. 手順3）で「エミュレート」を選択する

2. 〈ENTER〉ボタンを押す

3. ▲▼ボタンで設定したい項目を選択する

4. 「実行」または「中止」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

● デフォルト	DZ570、DW530、DX500
L730 シリーズ	L520 系、L720 系、L730 系
L780 シリーズ	L750 系、L780 系
L735 シリーズ	L735 系
L785 シリーズ	L785 系
F シリーズ	F100 系、FW100 系、F200 系、F300 系、FW300 系
LB シリーズ	LB75 系、LB78 系、LB80 系、LW80NT、LB90 系、LB1、LB2、ST10

REMOTE 端子モード

REMOTE 端子を設定します。

1）▲▼ボタンで「REMOTE 端子モード」を選択する

2）◀▶ボタンで「REMOTE 端子モード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

標準 ⟷ ユーザー ⟷ F シリーズ（F シリーズ ⟷ 標準）

標準	REMOTE 端子のピン配列を本機標準の設定で使用します（☞85ページ）
ユーザー	REMOTE 端子の設定を変更する場合に使用します 〈ENTER〉ボタンで2番ピンから8番ピンまでの設定を変更することができます
F シリーズ	F シリーズ（F100 系、FW100 系、F200 系、F300 系、FW300 系）互換の REMOTE 端子の設定を使用します

ファンクションボタン

本体操作部の〈FUNC1〉ボタンまたはリモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用することができます。

1) 本体操作部またはリモコンの〈MENU〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を表示させる
- オンスクリーンメニューの操作については、『メニュー画面の操作方法』をご覧ください。(☞38 ページ)

2) 本体操作部の〈FUNC1〉ボタンまたはリモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンのいずれかを 3 秒以上押し続ける

●「ファンクションボタン」を使用しない場合

1) ▲▼ボタンで「ファンクションボタン」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す
- 「ファンクションボタン」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンを押して、割り当てを解除したいボタンを選択する

4) リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押す

5) 確認画面が表示されるので「実行」を選択し、リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ
- 設定が完了すると割り当てたメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）の左に〈FUNC1〉設定時は F1、〈FUNC2〉設定時は F2、〈FUNC3〉設定時は F3 と表示されます。
- 本体操作部の〈FUNC1〉とリモコンの〈FUNC1〉には同じ操作が割り当てられます。

音声設定

音声機能の詳細を設定します。

1) ▲▼ボタンで「音声設定」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す
- 「音声設定」画面を表示します。

■音量

音声出力の音量を調整します。

1) ▲▼ボタンで「音量」を選択する

2) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	音量が大きくなります	最大値 63
◀ボタンを押す	音量が小さくなります	最小値 0

■バランス

音声出力の左右の音声バランスを調整します。

1) ▲▼ボタンで「バランス」を選択する

2) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	右の音量が大きくなります	L16 ～ R16
◀ボタンを押す	左の音量が大きくなります	

■スタンバイ時動作

スタンバイ状態での音声出力を設定します。

1) ▲▼ボタンで「スタンバイ時動作」を選択する

2) ◀▶ボタンで「スタンバイ時動作」を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

お知らせ
- 「ECO マネージメント」の「スタンバイモード」を「ECO」に設定しているときは、スタンバイ状態での音声出力はできません。
- 本機はスピーカーを内蔵していません。
音声は、音声出力端子に接続した外部の音響システムから出力することができます。

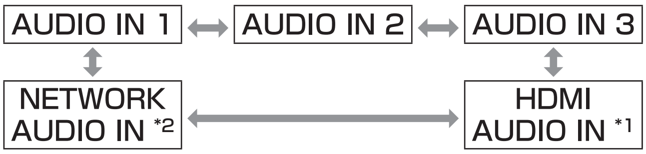
■音声入力選択

接続機器からの音声入力を「AUDIO IN 1」､「AUDIO IN 2」､「AUDIO IN 3」､「HDMI AUDIO IN」､「NETWORK AUDIO IN」から選択します。

1) ▲▼ボタンで「音声入力選択」を行う入力端子名を選択する

2) ◀▶ボタンで「音声入力選択」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



＊1: 入力端子が HDMI のみ
＊2: 入力端子が NETWORK のみ

AUDIO IN 1	設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 1 に接続した音声を出力します。
AUDIO IN 2	設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 2 に接続した音声を出力します。
AUDIO IN 3	設定した入力端子からの映像投写時に AUDIO IN 3 に接続した音声を出力します。
HDMI AUDIO IN	HDMI の音声を出力します。
NETWORK AUDIO IN	NETWORK の音声を出力します。

ステータス

本機の状態を表示します。

1) ▲▼ボタンで「ステータス」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

3) ◀▶ボタンを押してページを移動することができます

入力	現在選択されている入力端子を表示します
信号名	入力信号名を表示します
信号周波数	入力信号の周波数を表示します
プロジェクター使用時間	プロジェクターの稼働時間を表示します
ランプ ※	● ECO：ランプパワー：ECO 設定時のランプの点灯時間を表示します ● ノーマル：ランプパワー：ノーマル設定時のランプの点灯時間を表示します ● 合計：ランプの点灯時間の合計を表示します
吸気温度	プロジェクターの吸気温度状態を表示します
光学モジュール温度	プロジェクターの内部温度状態を表示します
ランプ周辺温度	プロジェクターのランプ周辺温度状態が表示されます
登録信号数	登録信号数を表示します
REMOTE ステータス	REMOTE の制御状態を表示します
プロジェクタータイプ	プロジェクターの種類を表示します
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します
ランプ品番	ランプユニットの品番を表示します
ランプシリアル番号	ランプのシリアル番号を表示します
メインバージョン	本機のファームウェアのメインバージョンを表示します
サブバージョン	本機のファームウェアのサブバージョンを表示します
ネットワークバージョン	本機のネットワークバージョンを表示します
エミュレート	設定されているエミュレートのモードを表示します
オンカウント	● パワーオン：電源を入れた回数を表示します ● ランプオン：ランプの点灯回数を表示します

※: 表示されるランプ時間は実時間です。
ランプ交換の目安を算出するには、以下のような換算式が必要になります。

ランプ交換の時間＝
ランプパワー「ノーマル」使用時間＋
（ランプパワー「ECO」使用時間× 2 ÷ 3）

日付と時刻

本機内蔵時計のタイムゾーンと日時を設定します。

■タイムゾーンの設定

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
3) ▲▼ボタンで「タイムゾーン」を選択する
4) ◀▶ボタンで「タイムゾーン」を切り換える

■手動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する
4) 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「時刻設定」画面を表示します。
5) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル日時を設定する
6) ▲▼ボタンで「設定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
   - 時刻設定が完了します。

■自動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで「日付と時刻」を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
3) ▲▼ボタンで「時刻設定」を選択する
4) 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「時刻設定」画面を表示します。
5) ▲▼ボタンで「NTP 同期」を選択し、◀▶ボタンで「オン」に切り換える
   - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

6) ▲▼ボタンで「設定」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
   - 時刻設定が完了します。

お知らせ

- 自動で日時を設定するには、ネットワークへの接続が必要です。
- 「NTP 同期」を「オン」にした直後の NTP サーバーとの同期に失敗したときや、NTP サーバーの設定がされていない状態で「NTP 同期」を「オン」にした場合、「NTP 同期」は「オフ」に戻ります。
- NTP サーバーの設定は Web ブラウザから本機にアクセスして実行してください。(詳しくは、『取扱説明書　ネットワーク操作説明編』をご覧ください)

全ユーザーデータ保存

各種設定値をプロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存します。

1) ▲▼ボタンで「全ユーザーデータ保存」を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
3) 「セキュリティパスワード」を入力する
   - 確認画面が表示されます。
4) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

全ユーザーデータロード

プロジェクター内部のメモリーにバックアップとして保存した各種設定値を読み込みます。

1) ▲▼ボタンで「全ユーザーデータロード」を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
   - 「セキュリティパスワード」画面を表示します。
3) 「セキュリティパスワード」を入力する
   - 確認画面が表示されます。
4) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 実行すると、設定値を反映させるためにプロジェクターはスタンバイ状態になります。

初期化

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

1) ▲▼ボタンで「初期化」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す
- 「セキュリティパスワード」画面を表示します。

3)「セキュリティパスワード」を入力する
- 「初期化」画面を表示します。

4) ▲▼ボタンで初期化したい項目を選択する

全ユーザーデータ	「登録信号」、「ネットワーク設定」※、「E メール設定」※、「ロゴイメージ」を含めた全設定値を工場出荷時の値に戻します 設定値を反映させるために、プロジェクターはスタンバイ状態になります
登録信号	入力信号ごとに保存している設定値をすべて消去します 登録信号の一部分だけを消去する場合は、『登録した信号を削除する』（☞69 ページ）を行ってください
ネットワーク / E メール	「ネットワーク設定」※、「E メール設定」※ を工場出荷時の値に戻します
ロゴイメージ	「ロゴ 1」に登録された画像を工場出荷時の画像に戻します

※: ネットワークと E メールの設定については、『取扱説明書　ネットワーク操作説明編』（☞8、26 ページ）をご覧ください。

5)〈ENTER〉ボタンを押す
- 確認画面が表示されます。

6) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

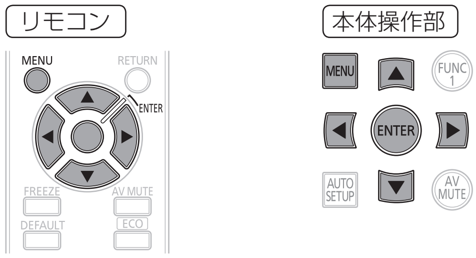
サービスパスワード

サービスマンが使用します。

「テストパターン」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）の
メインメニューから「テストパターン」を選びます。

- ◀▶ボタンで切り換えてください。



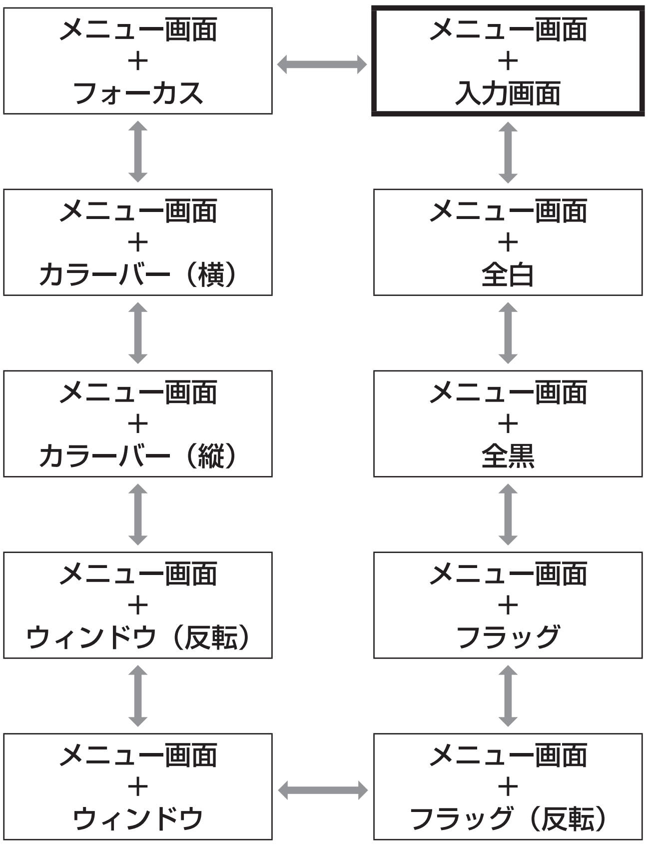
テストパターン

位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

1）◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える

■内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

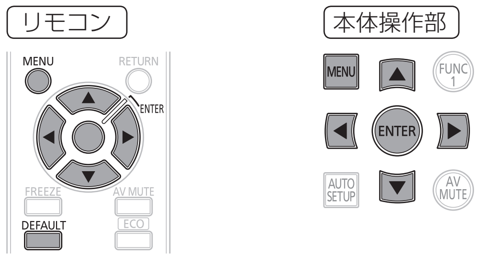


お知らせ

- テストパターンの表示中に〈MENU〉ボタンを押すと、オンスクリーンメニューを非表示にすることができます。
- テストパターンの画面から入力信号を表示させた画面に戻る場合は、◀▶ボタンで「メニュー画面＋入力画面」（図示の太枠部分）まで切り換えてください。

「登録信号一覧」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「登録信号一覧」を選びます。



■登録信号詳細

- 名前は、サブメモリーごとに設定可能です。
- メモリー番号：A1 (1-2)

サブメモリー番号

アドレス番号（A1、A2、…H7、H8）
信号が登録されている場合

新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押すと登録が完了し、「**メインメニュー**」画面が表示されます。

お知らせ

- 本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて 96 個までです。
- メモリー番号は 12 ページ（A ～ L の各ページに 8 個登録が可能）あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
- 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。
- メニューが表示されている場合は、新規信号が入力された時点で登録が完了します。

登録信号の名前の変更

1) ▲▼◀▶ボタンで詳細を表示したい信号を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**登録信号詳細**」画面を表示します。
- 入力信号の名前、メモリー番号、入力端子、周波数、同期信号などが表示されます。
- 〈RETURN〉ボタンまたは、〈MENU〉ボタンを押すと「**登録信号一覧**」画面に戻ります。

3)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**登録信号名変更**」画面を表示します。

4) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

5) 名前の変更を完了後▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 登録が完了し「**登録信号詳細**」画面に戻ります。
- ▲▼◀▶ボタンで「CANCEL」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動登録された信号名のままになります。

登録した信号を削除する

1) ▲▼◀▶ボタンで削除する信号を選択する

2)〈DEFAULT〉ボタンを押す

- 「**登録信号削除**」画面を表示します。
- 削除しない場合は〈RETURN〉ボタンまたは、〈MENU〉ボタンを押すと「**登録信号一覧**」画面に戻ります。

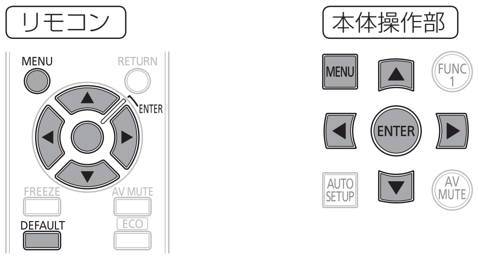
3)〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択した信号が削除されます。

「セキュリティ」について

『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- はじめてご使用になる場合
  初期パスワード：▲▶▼◀▲▶▼◀ボタンを順に押し、〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。



お 願 い

- 「**セキュリティ**」画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。

セキュリティパスワード

電源を入れたときに「**セキュリティパスワード**」画面を表示させます。このとき正しくパスワードを入力しないと、電源〈POWER（⏻/|）〉ボタン、〈AV MUTE〉ボタン以外の操作ができなくなります。

1）▲▼ボタンで「セキュリティパスワード」を選択する

2）◀▶ボタンで「セキュリティパスワード」を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ **オン**

オフ	セキュリティパスワード入力を無効
オン	セキュリティパスワード入力を有効

お知らせ

- お買い上げ時、または全ユーザーデータの初期化をしたあと、パスワード設定は「オフ」になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティパスワードは、セキュリティパスワードの設定を「オン」にしたあと、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ると有効になります。

セキュリティパスワード変更

セキュリティパスワードを変更します。

1）▲▼ボタンで「セキュリティパスワード変更」を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**セキュリティパスワード変更**」画面を表示します。

3）▲▼◀▶ボタンや、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

4）〈ENTER〉ボタンを押す

5）確認のため、再度パスワードを入力する

6）〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- セキュリティパスワードに数字を用いた場合、リモコンを紛失すると、セキュリティパスワードの初期化が必要になります。初期化方法については、販売店にご相談ください。

表示設定

投写中の映像に、セキュリティメッセージ（文字や画像）を重ねて表示させます。

1) ▲▼ボタンで「表示設定」を選択する

2) ◀▶ボタンで「表示設定」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ テキスト ⟷ ロゴ 1 ⟷ オフ

オフ	「テキスト」/「ロゴ 1」表示を無効
テキスト	テキスト表示を有効
ロゴ 1	ユーザーが登録した画像を表示

お知らせ

● 「ロゴ 1」の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている『ロゴ転送ソフトウェア』を使用します。
● 選択したモードのクローズドキャプション信号が入力された場合、セキュリティメッセージ（セキュリティのテキストとロゴ）は表示されません。
● クローズドキャプションや「波形モニター」の調整画面と同時に表示することはできません。

テキスト変更

「表示設定」で「テキスト」を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更します。

1) ▲▼ボタンで「テキスト変更」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

● 「**テキスト変更**」画面を表示します。

3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

4) ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

● テキストが変更されます。

メニューロック

〈MENU〉ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかを設定します。

1) ▲▼ボタンで「メニューロック」を選択する

2) ◀▶ボタンで「メニューロック」を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

オフ ⟷ オン

オフ	メニューのロック解除
オン	メニューのロック

お知らせ

● 「メニューロック」を「オン」に設定後、正しくパスワードを入力しないと〈MENU〉ボタンの操作ができなくなります。
● お買い上げ時、または全ユーザーデータ初期化後、パスワード設定は「オフ」になっています。
● ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

メニューロックパスワード

メニューロックパスワードを変更します。

1) ▲▼ボタンで「メニューロックパスワード」を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

● 「**メニューロックパスワード**」画面を表示します。

3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

4) ▲▼◀▶ボタンで「OK」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

● 中止する場合は「CANCEL」を選んでください。

お 願 い

● はじめてご使用になるとき、または全ユーザーデータ初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
● パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

1) ▲▼ボタンで「操作設定」を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**操作設定**」画面を表示します。

3) ▲▼ボタンで「本体操作部」または「リモコン」を選択する

4)〈ENTER〉ボタンを押す

- 「**本体操作部**」画面または「**リモコン**」画面を表示します。

■本体操作部

- 本体操作部からの制御の制限を設定できます。

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

■リモコン

- リモコンからの制御の制限を設定できます。

有効	リモコンボタン操作有効
無効	リモコンボタン操作無効

5) ▲▼ボタンで「有効」または「無効」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

6) ◀▶ボタンで「実行」を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

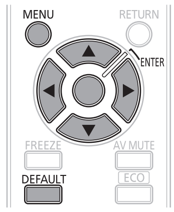
- 「無効」に設定した側のボタンで操作を行うと、「**セキュリティパスワード**」画面が表示されます。「セキュリティ」で設定したパスワードを入力してください。
- 「**セキュリティパスワード**」画面は〈MENU〉ボタンを押すか、約 10 秒何も操作しなければ消えます。
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を「切」（スタンバイ状態）にできなくなります。
- 設定が反映されるとオンスクリーンメニューが消えます。継続して操作を行う場合は、〈MENU〉ボタンを押してメインメニューを表示させてください。

「ネットワーク」について

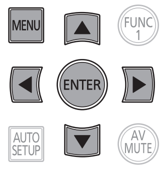
**『メニュー画面の操作方法』（☞38 ページ）の
メインメニューから「ネットワーク」を選び、
サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら◀▶▲▼ボタンで設定してください。

リモコン



本体操作部



お知らせ

- コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。PJ Link・ネットワーク関連の詳細は、『取扱説明書　ネットワーク操作説明編』をご覧ください。
- 「セキュリティ」メニューで「セキュリティパスワード」を「オン」にしている場合、ネットワークの設定初期化の際にパスワード入力が必要です。

■プロジェクター名

本機のプロジェクター名を設定できます。

■有線 LAN

有線 LAN に関する設定ができます。

■無線 LAN ※

無線 LAN に関する設定ができます。

■ネットワークコントロール

ネットワークのコントロール方法を設定します。

■ネットワークパスワード

ワイヤレスマネージャー ME5.5 を使ってプロジェクターと接続する場合、パスワードを設定し、接続制限をする場合は「オン」に設定します。
（工場出荷値：「オフ」）

■ネットワークパスワード変更

ネットワークパスワードを変更できます。

■ライブモード割り込み

ワイヤレスマネージャー ME5.5 によるライブモード実行中（画面送信中）に、他のユーザーからのライブモードでの割り込み接続を許可する場合は「オン」に設定します。
（工場出荷値：「オフ」）

■コンピューター検索 ※

ワイヤレスマネージャー ME5.5 による接続が可能なコンピューターを検索します。

■マルチライブ

ワイヤレスマネージャー ME5.5 を用いてコンピューターと接続している場合に使用します。

■ネットワークステータス

本機のネットワークの状態を表示します。

※：別売品のワイヤレスモジュール
（品番：ET-WM200）を装着している場合に設定が可能です。

ランプモニター / 温度モニター

モニターが点灯したら

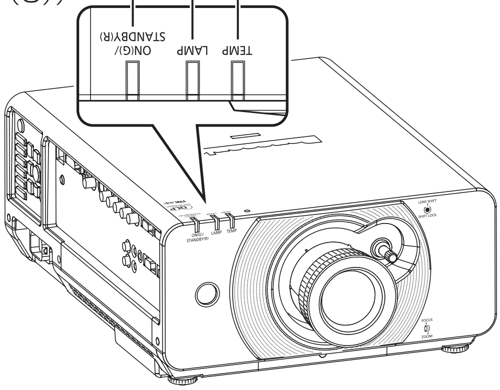
本機内部に異常が発生すると、ランプや温度のモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お 願 い

● 処置を行う際に電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。（☞32 ページ）

お知らせ

● 電源の状態は〈電源モニター〉で確認してください。（☞75 ページ）



■ランプモニター

モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	● 本機の電源を入れたときに「ランプを交換してください。」という表示がでませんでしたか。	● ランプユニットの使用時間が 1 800 時間（ランプパワー「ノーマル」設定時）に達すると点灯します。 ● ランプユニットの交換を実施してください。
赤色点滅（1 回）	ランプユニットが装着されていない	● ランプユニットが装着されているかご確認ください。	● ランプユニットが装着されていない場合は、ランプユニットを装着してください。 ● ランプユニットが装着されているのに赤色点滅をしている場合は、販売店にご相談ください。
赤色点滅（3 回）	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
		● ランプ回路に異常が発生しています。 ● 電源電圧が変動（低下）していませんか。	● 32 ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ

● 上記の処置をしても〈ランプモニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
● 海抜 1 400 m 以上で「高地モード」の設定を「オフ」で使用した場合、寿命が短くなります。

■温度モニター

<table>
<tr><th>モニター表示</th><th>現象</th><th>ここをお調べください</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="2">赤色点灯</td><td>ウォームアップ状態</td><td>● 気温が低い（0 ℃付近）状況で電源を「入」にしませんでしたか。</td><td>● このままの状態で 5 分ほどお待ちください。
● 周囲温度 0 ℃～ 45 ℃の場所に設置してください。</td></tr>
<tr><td>内部が高温になっている（警告）</td><td rowspan="3">● 吸気孔 / 排気孔がふさがれていませんか。
● 気温の高い所で使用していませんか。
●「高地モード」が正しく設定されていますか。</td><td rowspan="3">● 吸気孔 / 排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。
● 周囲温度 0 ℃～ 45 ℃、周囲湿度 20 %～ 80 %（非結露）の場所に設置してください。
● 海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満で使用する場合は、「高地モード」（☞61 ページ）を「オン」に設定してください。
海抜 2 700 m 以上の場所では使用しないでください。</td></tr>
<tr><td>赤色点滅（1 回）</td><td>内部が高温になっている（投写中）</td></tr>
<tr><td>赤色点滅（2 回）</td><td>内部が高温になっている（スタンバイ状態）</td></tr>
<tr><td>赤色点滅（3 回）</td><td>ファンが止まっている</td><td>—</td><td>● 32 ページの手順で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切り、販売店にご相談ください。</td></tr>
</table>

お知らせ

- 上記の処置をしても〈温度モニター〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

● 電源モニターについて

モニター表示	状態
赤色点灯	スタンバイ状態
緑色点灯	投写中（本体がリモコンの信号を受信すると緑色点滅になります。）
オレンジ色点灯	冷却中

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（☞32、30 ページ）
- 電源を切るときは『電源を切る』の手順を必ずお守りください。（☞32 ページ）

お手入れ

■外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。

■レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お 願 い

- レンズはガラス部品です、堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

部品交換

⚠ 警告

■エアーフィルターおよびランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■エアーフィルターおよびランプユニットの交換は、専門の技術者または販売店に依頼する

けがの原因になります。

■ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。「プロジェクターセットアップ」メニューの「ステータス」（☞65 ページ）でランプの使用時間を確認し、定期的に交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者または販売店にご依頼ください。また、ランプユニット（品番：ET-LAD60A（1 灯）、ET-LAD60AW（2 灯セット））をご購入の際は、販売店にご相談ください。

■ランプユニットの交換上のお願い

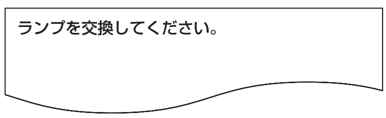
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅いものに当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お 願 い

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因になるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
		
1 800 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お知らせ

- 2 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については『保証とアフターサービス』（☞92 ページ）をご覧ください。

■エアーフィルター

ランプユニットを交換する際、あわせてエアーフィルターも交換してください。
交換用のランプユニット（品番：ET-LAD60A（1 灯）、ET-LAD60AW（2 灯セット））には、エアーフィルターが ET-LAD60A（1 灯）には 1 個、ET-LAD60AW（2 灯セット）には 2 個付属しています。

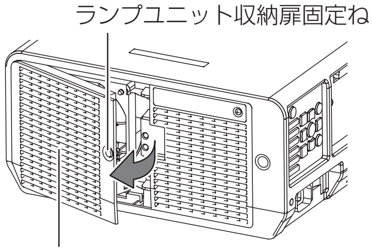
■ランプユニットおよびエアーフィルターの交換手順

お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全な場合、保護回路が作動して電源が入りません。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ部分が破損する場合があります。
- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアーフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアーフィルターを交換する際は、ランプユニットに付属のものを使用し、ランプユニットの交換と同時に行ってください。

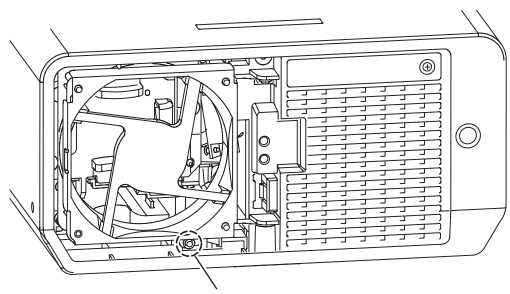
1）『電源を切る』（☞32 ページ）の手順を守り、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

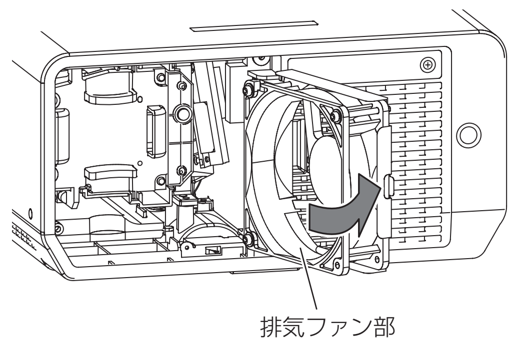
2）「ランプユニット収納扉固定ねじ」（1 本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を取り外す



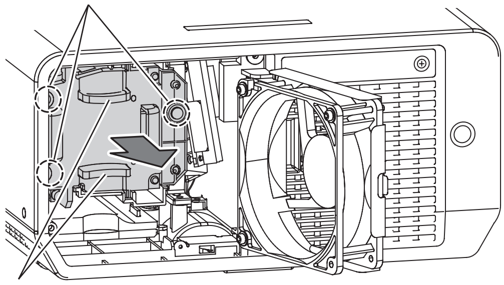
● ランプユニットの交換

3）「排気ファン部固定ねじ」（1 本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、「排気ファン部」を図のように開ける

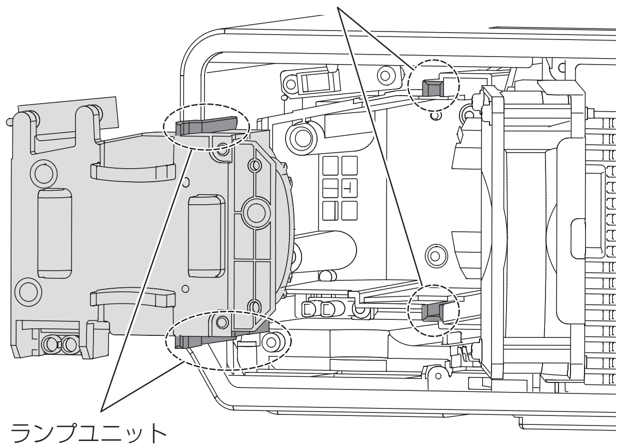




4）「ランプユニット固定ねじ」（3 本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、取っ手をつまんでランプユニットを水平方向に取り出す



5）新しいランプユニットを挿入位置に注意して押し込む



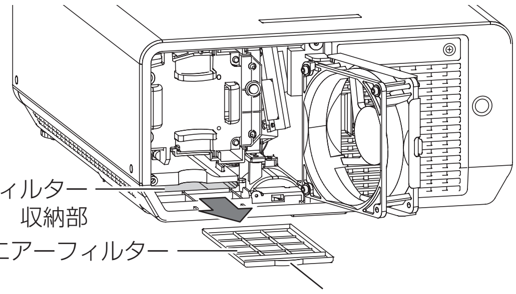
6）「ランプユニット固定ねじ」（3 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

● エアーフィルターの交換

7）エアーフィルターのつまみをつまんで引き出し、エアーフィルターを取り出す



8）手順 7）と逆の操作で、フィルターの格子がある面をプロジェクターの底面側に向け、新しいエアーフィルターを取り付ける

9）手順 3）と逆の操作で「排気ファン部」を閉じたあと、「排気ファン部固定ねじ」（1 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

10）手順 2）と逆の操作で「ランプユニット収納扉」を閉じ、「ランプユニット収納扉固定ねじ」（1 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

点検と部品交換

故障かな !?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを「切」にしていませんか。 ● コンセントに電源がきていますか。 ● ブレーカーが落ちていませんか。 ● 〈ランプモニター〉または〈温度モニター〉が点灯または点滅していませんか。 ● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	— 32 — — 74、75 78
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。 ● 入力切り換えは正しく選択されていますか。 ● 「黒レベル」の調整が最小になっていませんか。 ● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。 ● AV ミュート機能を使用していませんか。 ● 〈電源モニター〉が赤色に点滅している場合は、販売店にご相談ください。	26 35 41 — 35 —
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。 ● 投写距離は適切ですか。 ● レンズが汚れていませんか。 ● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	33 21 13 —
色が薄い / 色あいが悪い	● 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 ● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。 ● RGB ケーブルが切れていませんか。	42 — —
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。 ● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。 ● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。 ● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。 ● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 ● 「操作設定」の「リモコン」が「無効」に設定されていませんか。 ● リモート（REMOTE）端子を使って外部制御を行っていませんか。 ● ID 設定の操作を間違えていませんか。	— 16 16 16 16 72 85 19、60
メニュー画面が でない	● オンスクリーン表示機能を非表示（オフ）にしていませんか。	38
本体操作部のボタンが働かない	● 「操作設定」の「本体操作部」の設定が「無効」になっていませんか。 ● リモート（REMOTE）端子を使って外部制御を行っていませんか。	72 85
正常な映像が 映らない	● 「システムセレクター」の選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	44 — 87
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。（例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。）	— —

症状	ここをお調べください	ページ
コンピューターのDVI-D 出力の絵がでない	●「DVI-D IN」の設定が「EDID3」・「EDID2：PC」になっていますか。	56
	● コンピューターのグラフィックアクセラレーターのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—
	●「DVI-D IN」の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れ直すことで改善する可能性があります。	56
HDMI 対応機器の映像がでない、乱れる	● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。	26
	● 本体の電源および接続機器の電源を「切」/「入」してください。	—
	● 対応外の信号がつながっていませんか。	87
HDMI 対応機器の音声がでない	● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。	—
	●「音声設定」の「音声入力選択」を確認してください。	65
	● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、音声 1 ～ 3 入力端子から接続してください。	65

お 願 い

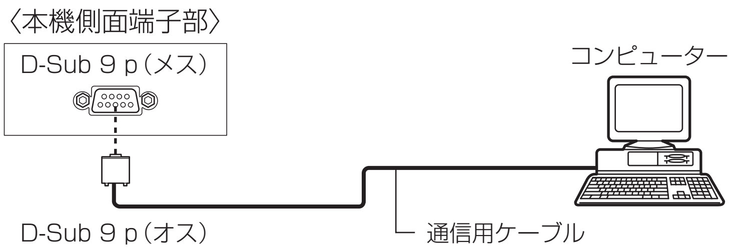
● 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。(☞92 ページ)

付録

シリアル端子について

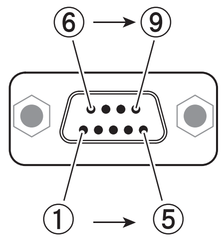
本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■接続



■ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン（メス）外側から見た図



ピン No.	信号名	内容
①	—	NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④	—	内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥	—	NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨	—	NC

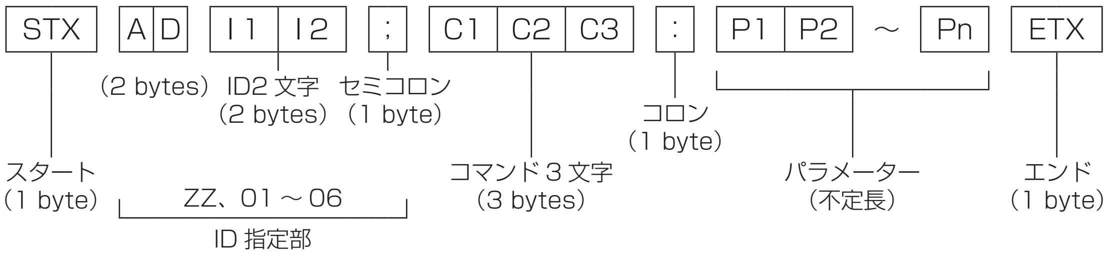
■通信条件（工場出荷設定）

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

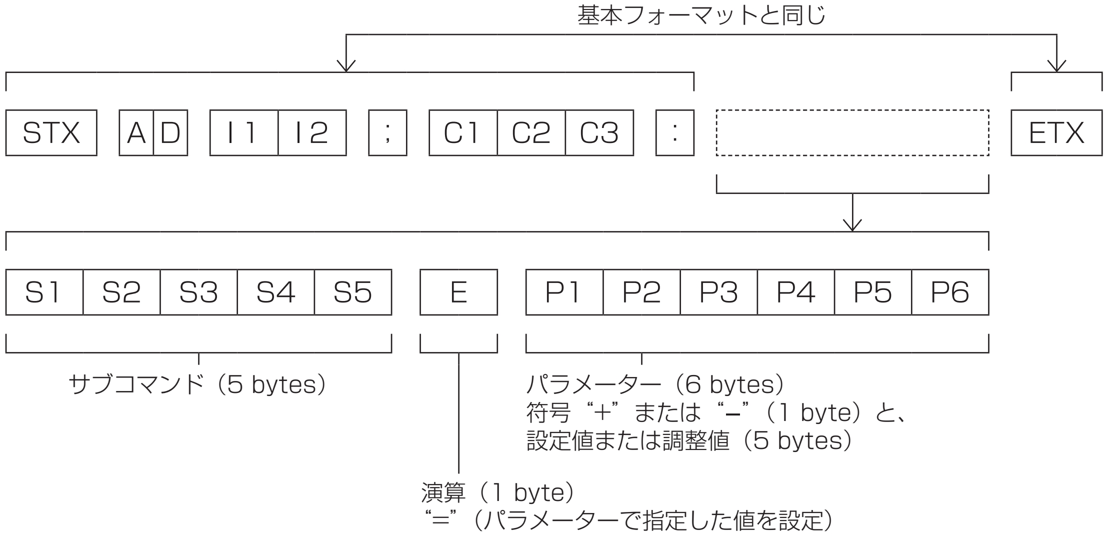
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



※: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

■基本フォーマット（サブコマンドあり）



※: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算（E）とパラメーターは必要ありません。

お 願 い

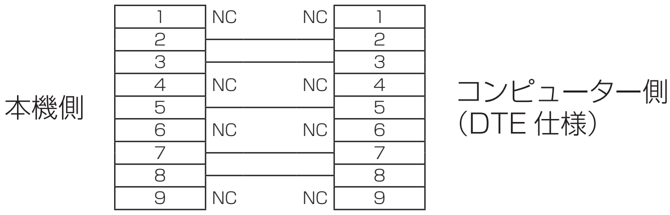
- ランプ点灯開始直後、約 60 秒経過前にコマンドを送信すると、応答が遅く帰ってきたり、コマンドが実行できなかったりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ（オール）と 01 ～ 06 の対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
  - ・本機の「プロジェクター ID」（☞60 ページ）と一致した場合
  - ・本機の「プロジェクター ID」（☞60 ページ）が「オール」の場合
- STX は 16 進数で 02、ETX は 16 進数で 03 のキャラクターコードです。

■ケーブル仕様

〈コンピューターと接続する場合〉



■制御コマンド

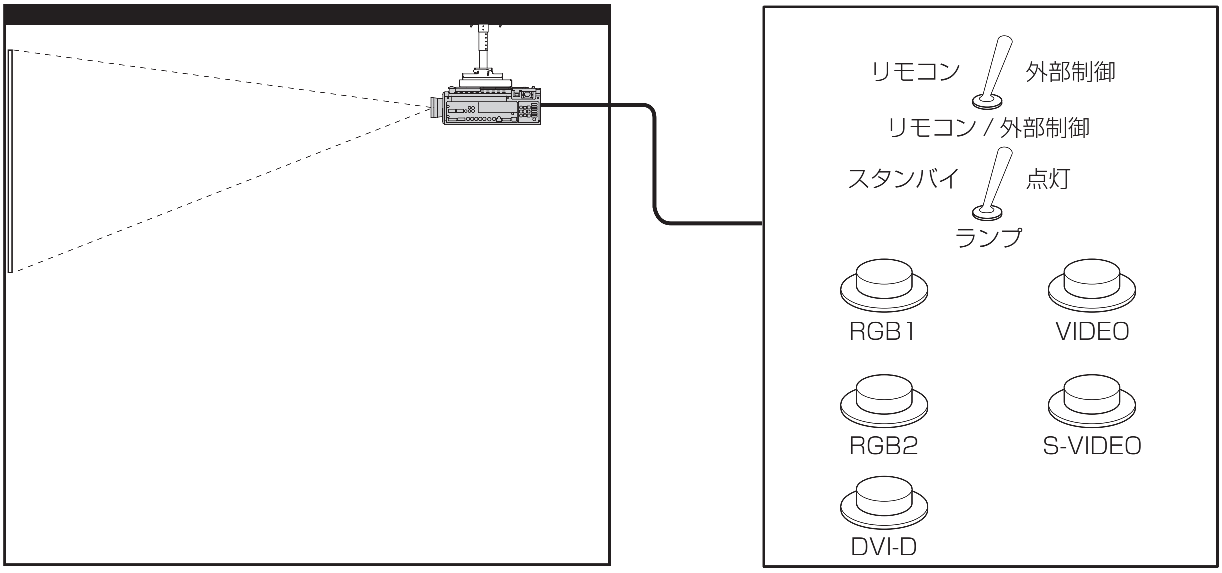
コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

〈操作コマンド〉

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	電源「入」になっているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源「スタンバイ」	
QPW	電源問い合わせ	000 = スタンバイ　001 = 電源「入」
IIS	入力信号切り換え	VID = VIDEO　SVD = S-VIDEO　RG1 = RGB1　RG2 = RGB2 DVI = DVI-D　HD1 = HDMI　NWP = NETWORK
OLP	ランプパワー設定	0 = ノーマル　1 = ECO
QLP	ランプパワー設定問い合わせ	0 = ノーマル　1 = ECO
Q $L	ランプ使用時間問い合わせ	応答は 0000 ～ 2000（単位は時間：ランプパワー「ノーマル」での換算時間）
OSH	AV ミュート	0 = 終了　1 = 実行
QSH	AV ミュート状態問い合わせ	0 = 終了　1 = 実行
VSE	アスペクト切り換え	0 = 標準 /VID オート /VID オート（優先）　1 = 4 : 3　2 = 16 : 9　5 = 等倍 6 = HV フィット　9 = H フィット　10 = V フィット　20 = S1 オート 30 = VID オート
QSE	アスペクト設定問い合わせ	0 = 標準 /VID オート /VID オート（優先）　1 = 4 : 3　2 = 16 : 9　5 = 等倍 6 = HV フィット　9 = H フィット　10 = V フィット　20 = S1 オート 30 = VID オート
OPP	2 画面実行	0 = オフ　1 = オン
QPP	2 画面設定問い合わせ	0 = オフ　1 = オン
OCS	サブメモリー切り換え	01 ～ 96 = サブメモリー番号
QSB	サブメモリー状態問い合わせ	01 ～ 96 = サブメモリー番号

リモート端子について

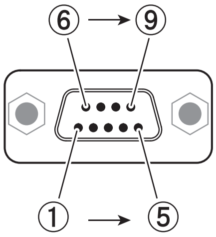
本体側面端子部のリモート入力（REMOTE IN）端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御（接点制御）することができます。



会議室などの設置場所　　別の場所にある遠隔制御盤

■ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン（外側から見た図）



ピン No.	信号名	オープン（H）	ショート（L）
①	GND	—	GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI-D	その他	DVI-D
⑧	AV ミュート	OFF	ON
⑨	有効 / 無効	通常制御	外部接点制御

お 願 い

- 制御を行う場合は必ず、①番、⑨番ピンを短絡させてください。
- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
  電源〈POWER（⏻/|）〉ボタンや〈AV MUTE〉ボタンと、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③〜⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
  〈POWER（⏻/|）〉、〈RGB1〉、〈RGB2〉、〈DVI-D〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈NETWORK〉、〈HDMI〉、〈AV MUTE〉ボタン、これらの機能に相当する RS-232C 用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- 上記は、「プロジェクターセットアップ」メニューの「REMOTE 端子モード」（☞63 ページ）を「標準」に設定した場合の説明です。

その他

2 画面表示組み合わせ一覧（PT-DZ570、PT-DW530 のみ）

メインウィンドウ ＼ サブウィンドウ		RGB1		RGB2		VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	DVI-D		HDMI		NETWORK
		RGB 入力	YP$_B$P$_R$ 入力	RGB 入力	YP$_B$P$_R$ 入力			動画系 *1	RGB 系 *2	動画系 *1	RGB 系 *2	
RGB1	RGB 入力			○	○	○	○	○	○	○	○	○
	YP$_B$P$_R$ 入力			○	△	△	△	△	○	△	○	○
RGB2	RGB 入力	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	YP$_B$P$_R$ 入力	○	△			△	△	△	○	△	○	○
VIDEO 入力		○	△	○	△		×	△	○	△	○	○
S-VIDEO 入力		○	△	○	△	×		△	○	△	○	○
DVI-D	動画系 *1	○	△	○	△	△	△			△	○	○
	RGB 系 *2	○	○	○	○	○	○			○	○	○
HDMI	動画系 *1	○	△	○	△	△	△	△	○			×
	RGB 系 *2	○	○	○	○	○	○	○	○			×
NETWORK		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

○ : 2 画面表示組み合わせが可能
× : 2 画面表示組み合わせが不可能
△ : 下記条件の場合、2 画面表示組み合わせが可能
（ただし、条件によってはサブウィンドウの映像が乱れることがあります。）
1）2 画面の信号の垂直走査周波数が同じ
2）2 画面がインターレース信号×インターレース信号の組み合わせ以外

＊1 : 480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/24p、1 080/25p、1 080/30p、1 080/50p、1 080/60p のみ対応
＊2 : VGA（640 × 480）～ WUXGA（1 920 × 1 200）
ノンインターレース信号、ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz
（WUXGA 信号は VESA CVT RB（Reduced Blanking）信号のみ対応しています。）

お知らせ

- サブウィンドウの入力信号の解像度が水平 1 280 画素を超えるとき、サブウィンドウの画質が劣化する場合があります。

メニューロックパスワードについて

パスワードをお買い上げ時の設定（AAAA）に戻すには、メニューロックパスワード要求画面の表示中に以下の操作を行ってください。

① リモコンまたは、本体操作部の〈AUTO SETUP〉ボタンを 2 秒以上押す

② ▼ボタンを 2 秒以上押す

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。
フォーマット：　V：ビデオ、S：S ビデオ、D：DVI、H：HDMI、R：RGB、Y：YP_BP_R

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数 水平（kHz）	走査周波数 垂直（Hz）	ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *1 RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	DVI-D EDID3	HDMI
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9	—	V/S					
PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50.0	—	V/S					
525i (480i)	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y					
625i (576i)	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y					
525p (480p)	720 × 483	31.5	59.9	27.0	D/H/R/Y		○		○	○
625p (576p)	720 × 576	31.3	50.0	27.0	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/60i *2	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/24sF	1 920 × 1 080i	27.0	24.0	74.3	D/H/R/Y					
1 125 (1 080)/25p	1 920 × 1 080	28.1	25.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	
1 125 (1 080)/30p	1 920 × 1 080	33.8	30.0	74.3	D/H/R/Y					
1 125 (1 080)/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	D/H/R/Y		○		○	○
1 125 (1 080)/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	D/H/R/Y		○		○	○
750 (720)/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	○
750 (720)/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	D/H/R/Y		○		○	○
VESA400	640 × 400	31.5	70.1	25.2	D/H/R					
	640 × 400	37.9	85.1	31.5	D/H/R					
VGA480	640 × 480	31.5	59.9	25.2	D/H/R	○	○	○	○	○
	640 × 480	35.0	66.7	30.2	D/H/R					
	640 × 480	37.9	72.8	31.5	D/H/R	○		○	○	○
	640 × 480	37.5	75.0	31.5	D/H/R	○		○	○	○
	640 × 480	43.3	85.0	36.0	D/H/R					
SVGA	800 × 600	35.2	56.3	36.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	37.9	60.3	40.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	48.1	72.2	50.0	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	46.9	75.0	49.5	D/H/R	○		○	○	○
	800 × 600	53.7	85.1	56.3	D/H/R					
MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	D/H/R	○		○	○	○
XGA	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	D/H/R					
	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	D/H/R	○		○	○	○
	1 024 × 768	65.5	81.6	86.0	D/H/R					
	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	D/H/R					
	1 024 × 768	80.0	100.0	105.0	D/H/R					
	1 024 × 768	98.7	119.9	138.9	D/H/R					
MXGA	1 152 × 864	53.7	60.0	81.6	D/H/R					
	1 152 × 864	64.0	71.2	94.2	D/H/R					
	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	D/H/R					
	1 152 × 864	76.7	85.0	121.5	D/H/R					
MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	D/H/R	○		○	○	○
1 280 × 720	1 280 × 720	37.1	49.8	60.5	D/H/R					
	1 280 × 720	44.8	59.9	74.5	D/H/R					
1 280 × 768	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	D/H/R					
	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	D/H/R					
	1 280 × 768 *3	47.4	60.0	68.3	D/H/R					
	1 280 × 768	60.3	74.9	102.3	D/H/R					
	1 280 × 768	68.6	84.8	117.5	D/H/R					

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数 (MHz)	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *1				
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EDID1	DVI-D EDID2	DVI-D EDID3	HDMI
1 280 × 800	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	D/H/R					
	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	D/H/R	○ *4		○ *4	○ *4	○ *4
	1 280 × 800 *3	49.3	59.9	71.0	D/H/R					
	1 280 × 800	62.8	74.9	106.5	D/H/R					
	1 280 × 800	71.6	84.9	122.5	D/H/R					
MSXGA	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	D/H/R					
SXGA	1 280 × 1 024	52.4	50.0	88.0	D/H/R					
	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 280 × 1 024	72.3	66.3	125.0	D/H/R					
	1 280 × 1 024	78.2	72.0	135.1	D/H/R					
	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	D/H/R	○		○	○	○
	1 280 × 1 024	91.1	85.0	157.5	D/H/R					
1 366 × 768	1 366 × 768	47.7	59.8	84.8	D/H/R					
	1 366 × 768	39.6	49.9	69.0	D/H/R					
SXGA+	1 400 × 1 050	54.1	50.0	99.9	D/H/R					
	1 400 × 1 050	64.0	60.0	108.0	D/H/R					
	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	D/H/R	○		○	○	○
	1 400 × 1 050	65.3	60.0	121.8	D/H/R					
	1 400 × 1 050	78.8	72.0	149.3	D/H/R					
	1 400 × 1 050	82.2	75.0	155.9	D/H/R					
WXGA+	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	D/H/R					
	1 440 × 900	46.3	49.9	86.8	D/H/R					
UXGA60	1 600 × 1 200	75.0	60.0	162.0	D/H/R	○		○	○	○
WSXGA+	1 680 × 1 050	65.3	60.0	146.3	D/H/R					
	1 680 × 1 050	54.1	50.0	119.5	D/H/R					
1 920 × 1 080	1 920 × 1 080	55.6	49.9	141.5	D/H/R					
	1 920 × 1 080 *3	66.6	59.9	138.5	D/H/R					
	1 920 × 1 080 *6	67.2	60.0	173.0	R					
WUXGA	1 920 × 1 200	61.8	49.9	158.3	D/H/R					
	1 920 × 1 200 *3	74.0	60.0	154.0	D/H/R	○		○	○ *5	○ *5
	1 920 × 1 200 *6	74.6	59.9	193.3	R					

＊1: プラグアンドプレイ対応に○がある信号は、プロジェクターの EDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができない場合があります。
＊2: 1 125 (1 035)/60i の信号が入力された場合、1 125 (1 080)/60i の信号として表示します。
＊3: VESA CVT-RB（Reduced Blanking）準拠
＊4: PT-DW530 のみ
＊5: PT-DZ570 のみ
＊6: 画像処理回路で画素を間引いて投写します。

お知らせ

- PT-DZ570 の表示ドット数は 1 920 × 1 200、PT-DW530 の表示ドット数は 1 280 × 800、PT-DX500 の表示ドット数は 1 024 × 768 です。
  解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろにある「 i 」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

品番		PT-DZ570	PT-DW530	PT-DX500
使用電源		AC100 V　50 Hz/60 Hz		
消費電力		415 W		
		（スタンバイモード「ECO」設定時 0.3 W、「ノーマル」設定時 15 W）		
DLP チップ	サイズ	0.67 型（アスペクト比 16：10）	0.65 型（アスペクト比 16：10）	0.7 型（アスペクト比 4：3）
	表示方式	DLP チップ 1 枚　DLP 方式		
	画素数	2 304 000 画素 （1 920 × 1 200 ドット）	1 024 000 画素 （1 280 × 800 ドット）	786 432 画素 （1 024 × 768 ドット）
レンズ		マニュアルズーム（2 倍）・フォーカス F 2.0 ～ 3.4、f 21.5 mm ～ 43.0 mm		
光源ランプ		300 W（最大 310 W）　UHM ランプ		
光出力 *1		4 000 lm（ANSI）		4 500 lm（ANSI）
対応走査 *2 周波数	RGB 信号時	水平 15 kHz ～ 100 kHz　垂直 24 Hz ～ 120 Hz PIAS（Panasonic Intelligent Auto Scanning）方式		
		ドットクロック周波数 162 MHz 以下		
	YP_BP_R 信号時	[480i] 水平 15.75 kHz　垂直 60 Hz、 [480p] 水平 31.5 kHz　垂直 60 Hz、 [720/60p] 水平 45 kHz　垂直 60 Hz、 [1 035/60i] 水平 33.75 kHz　垂直 60 Hz、 [1 080/60i] 水平 33.75 kHz　垂直 60 Hz、 [1 080/25p] 水平 28.13 kHz　垂直 25 Hz、 [1 080/30p] 水平 33.75 kHz　垂直 30 Hz、 [1 080/50p] 水平 56.25 kHz　垂直 50 Hz [576i] 水平 15.63 kHz　垂直 50 Hz [576p] 水平 31.25 kHz　垂直 50 Hz [720/50p] 水平 37.5 kHz　垂直 50 Hz [1 080/50i] 水平 28.13 kHz　垂直 50 Hz [1 080/24p] 水平 27 kHz　垂直 24 Hz [1 080/24sF] 水平 27 kHz　垂直 48 Hz [1 080/60p] 水平 67.5 kHz　垂直 60 Hz ●HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。		
	ビデオ信号時 （S ビデオ含む）	水平 15.75 kHz/15.63 kHz　垂直 50 Hz/60 Hz		
	DVI-D 信号時 HDMI 信号時	480p、576p、720/60p、720/50p、1 080/60p、1 080/50p、1 080/60i、1 080/50i、1 080/24sF、1 080/30p、1 080/25p、1 080/24p ●表示可能解像度：VGA ～ WUXGA（ノンインターレース） ●ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz		
カラー方式		7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60）		
投写画面サイズ		40 ～ 300 型		
画面アスペクト比		16：10		4：3
投写方式		フロント／リア／天つり／床置（メニュー設定方式）		
コントラスト比		2 000：1		
接続端子	RGB1 入力端子	1 系統（BNC × 5） [RGB 信号］　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応 [YP_BP_R 信号] Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P_BP_R：0.7 V [p-p] 75 Ω		
	RGB2 入力端子	1 系統　高密度 D-Sub 15 p（メス） [RGB 信号］　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時　1.0 [p-p] 75 Ω） HD/SYNC　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応 VD　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応 [YP_BP_R 信号] Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P_BP_R：0.7 V [p-p] 75 Ω		

仕様（つづき）

品番		PT-DZ570	PT-DW530	PT-DX500
接続端子	VIDEO 入力端子	1 系統　BNC 1.0 V [p-p] 75 Ω		
	S-VIDEO 入力端子	1 系統　Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応		
	DVI-D 入力端子	1 系統　DVI-D 24 p シングルリンク　DVI1.0 準拠　HDCP 対応		
	HDMI 入力端子	1 系統　HDMI 19 ピン　（HDCP、Deep color 対応）		
	シリアル入力端子	D-Sub 9 p　1 系統　RS-232C 準拠　コンピューター制御用		
	AUDIO 入力端子	1 系統　RCA ピンジャック× 2（L-R）　0.5 V [rms]、入力インピーダンス　22 k Ω以上 2 系統　M3 ステレオミニジャック　0.5 V [rms]、入力インピーダンス　22 k Ω以上		
	AUDIO 出力端子	1 系統　M3 ステレオミニジャック（モニター出力、ステレオ対応可） 0 V [rms] ～ 2.0 V [rms]（可変）、出力インピーダンス　2.2 k Ω以下		
	リモート入力端子	1 系統　D-Sub 9 p　外部制御用（接点制御）		
	LAN 端子	1 系統　RJ-45　ネットワーク接続用　PJLink 対応　10Base-T/100Base-TX		
	ワイヤレスモジュール接続端子	1 系統　ワイヤレスモジュール（別売品：ET-WM200）専用		
電源コードの長さ		3.0 m		
外装ケース		樹脂成型品		
外形寸法		横幅：332 mm　高さ：168 mm（脚最小時）　奥行：484.5 mm（425 mm：突起部含まず）		
質量		約 8.5 kg *3		
使用環境条件		使用環境温度 *4：0 ℃～ 45 ℃ 使用環境湿度：20 %～ 80 %（結露のないこと）		
リモコン	使用電源	DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個）		
	操作距離	約 15 m（受信部正面）		
	質量	117 g（乾電池含む）		
	外形寸法	横幅：48 mm　高さ：163 mm　奥行：24.5 mm		

＊1：出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
＊2：本機が投写できる映像信号について詳しくは、『対応信号リスト』（☞87 ページ）をご覧ください。
＊3：平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
＊4：高地（1 400 m ～ 2 700 m）で使用する場合、使用環境温度は 0 ℃～ 40 ℃になります。

- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

商標について

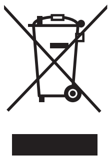
商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

■中国域内での環境に関する情報

このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・・・

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと保管してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6 ヵ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

『故障かな !?』（☞80 ページ）の表や、組み合わせをされた機器の取扱説明書もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。
  ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	74、75 ページのモニターランプの表示状態も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら　0120-872-601　**受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

URL：http://panasonic.biz/projector/

※書面や電話 /FAX でお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

天つり金具取り付け時の注意事項

本製品に天つり金具を取り付けてご使用になる場合は、付属の天つり用落下防止具（ワイヤーロープ）をプロジェクター本体に取り付けてご使用ください。
（安全性には問題ありませんが、ねじがゆるんでいた場合に起きる落下などの不慮の事故を防止することができます。）

天つり金具品番：高天井用：ET-PKD110H
低天井用：ET-PKD110S

工事は専門技術者に依頼し、下記の取り付け手順に従ってください。

- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。
- 盗難防止用フックに落下防止用のワイヤーロープを取り付けたり、つり下げたりしないでください。
- 天井にワイヤーロープを取り付ける方法については、天つり金具の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

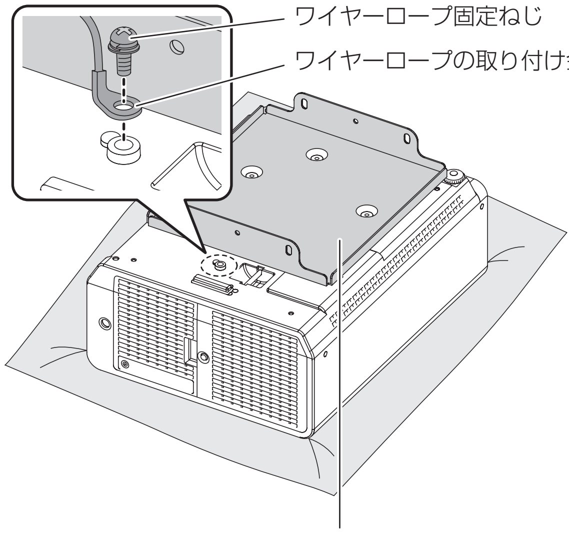
取り付け手順

1）やわらかい布などの上に、プロジェクター本体の底面を上にして置く

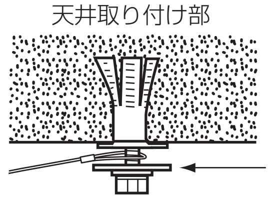
2）ワイヤーロープ固定ねじを、ワイヤーロープの取り付け金具部に通す

3）ワイヤーロープ固定ねじを本体に取り付けて締めつける

ワイヤーロープ固定ねじ：M4 × L12
固定ねじの締めつけトルク：1.25 ± 0.2 N·m



天つり金具（天つり金具に付属の取り付け金具）
（上図は、高天井用：ET-PKD110H）



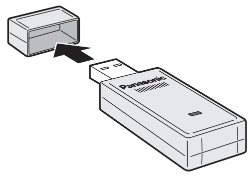
お願い

- 必ず付属のワイヤーロープ固定ねじ、ワイヤーロープ、平ワッシャーをご使用ください。
- ワイヤーロープは、本体取り付け部と天井取り付け部の間にたるみができないように取り付けてください。

その他

ワイヤレスモジュールの取り付け手順

ワイヤレス機能を使用するには、別売品のワイヤレスモジュール：ET-WM200 が必要です。
ワイヤレスモジュールを本体に取り付ける際は、保護シールをはがし、キャップを外してください。

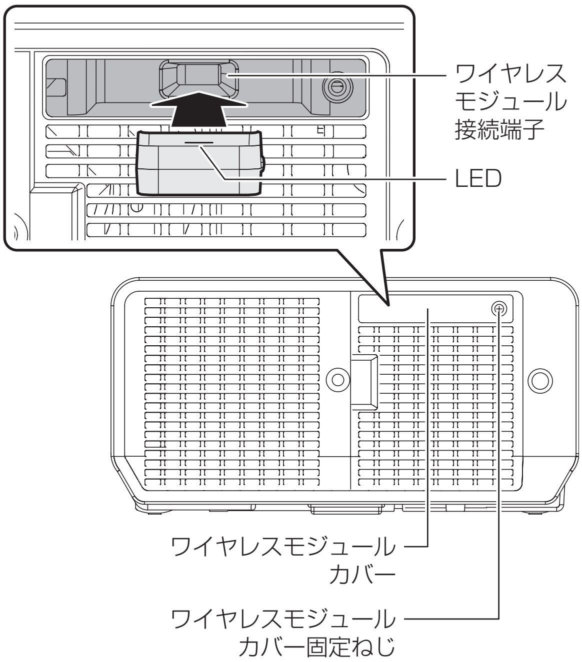


取り付け手順

1) ワイヤレスモジュールカバー固定ねじを空回りするまで回し、ワイヤレスモジュールカバーを取り外す

2) LED が上になる状態で、ワイヤレスモジュールをワイヤレスモジュール接続端子に取り付ける

3) ワイヤレスモジュールカバー固定ねじを締めつけて、ワイヤレスモジュールカバーを固定する



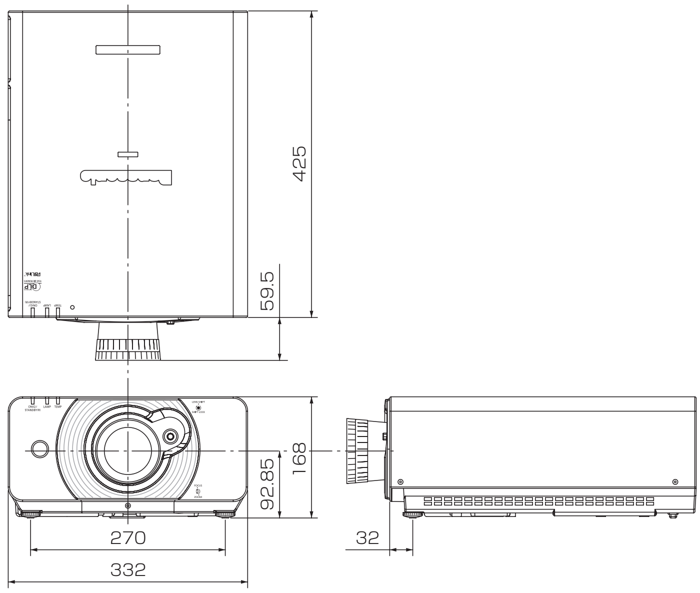
お 願 い

- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけの際は、プラスドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- 付属品や別売り部品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- ワイヤレスモジュール（別売品：ET-WM200）以外は挿入しないでください。

さくいん

外形寸法図

〈単位：mm〉



※: 各製品で寸法は異なる場合があります。

愛情点検	長年ご使用のプロジェクターの点検を！			
	こんな症状はありませんか	● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源「入」時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が連続してチラついたり、ユレたりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	PT-DZ570/PT-DW530/ PT-DX500
販売店名	電話（　　　）　　－		
お客様ご相談窓口	電話（　　　）　　－		

パナソニック株式会社　システムAVビジネスユニット

〒571-8503　大阪府門真市松葉町2番15号　電話 0120-872-601